

# 松山市学校施設等長寿命化計画

令和 2 年 4 月 策定

令和 3 年 11 月 改訂

令和 7 年 3 月 改訂



## 目次

### I. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

---

---

1. 背景
2. 目的
3. 計画の位置づけ
4. 計画期間
5. 所管施設

### II. 学校施設の目指すべき姿

---

---

1. 学校施設の目指すべき姿

### III. 学校施設の実態

---

---

1. 学校施設の運営状況・活用状況等の実態
2. 学校施設の老朽化状況の実態
3. 学校施設のトイレ状況の実態

### IV. 学校施設等整備の基本的な方針等

---

---

1. 改修等の基本的な方針
2. 学校施設等の規模・配置計画等の方針

### V. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

---

---

1. 改修等の整備水準

### VI. 長寿命化の実施計画

---

---

1. 改修等の優先順位付けと実施計画
2. 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果
3. 長寿命化計画の実施と質的向上

### VII. 長寿命化計画の継続的運用方針

---

---

1. 情報基盤の整備と活用
2. フォローアップ



Ⅰ 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景

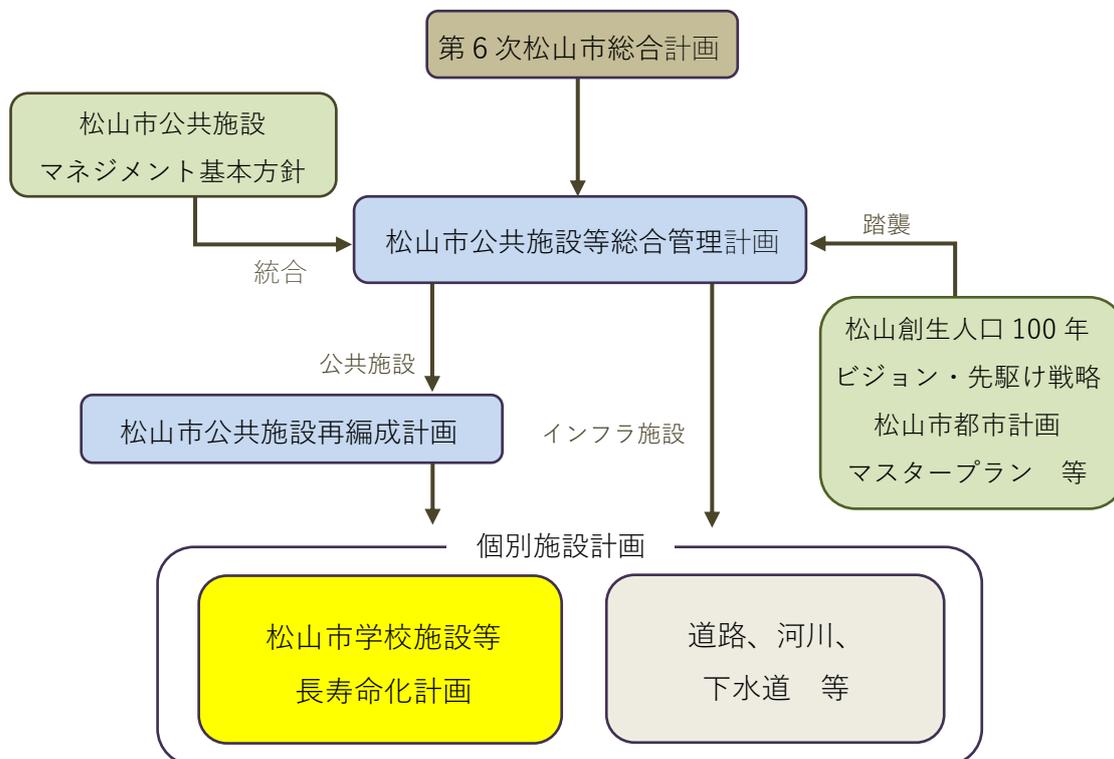
学校施設は第2次ベビーブーム世代の増加に伴い昭和40年代後半から50年代にかけて多く建設されたが、それらの建物が今、一斉に更新時期を迎えつつあり、その老朽化対策が重要な課題となっています。

限られた財源や人員の中で、学校施設の整備内容や時期、費用等を具体的に表す長寿命化計画を策定することは、戦略的に施設整備を進める点でも非常に重要であり、また、施設を計画的に管理することで児童生徒等の安全・安心の確保につながります。

2. 目的

- ・中長期的な維持管理等に係るトータルコストを縮減します
- ・予算の平準化に努めます
- ・学校施設に求められる機能・性能を確保します
- ・施設保有量の適正化を図ります

3. 計画の位置づけ



#### 4. 計画期間

2020（令和2）年度から50年間を計画期間とします。また、本計画については施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握しながら、原則5年ごとに見直しを行い、整備を進めていきます。

#### 5. 所管施設

本計画における施設は、小学校59校、中学校29校、幼稚園5園の計93校730棟と公民館40館となります。

##### ●学校施設総施設数

	学校数	棟数	延床面積 (㎡)
小学校	59	464	391,749
中学校	29	260	242,689
幼稚園	5	6	4,169
計	93	730	638,607

##### ●公民館施設

	館数	棟数	延床面積 (㎡)
公民館	40	46	29,805

II 学校施設の目指すべき姿

1. 学校施設の目指すべき姿

財政的に持続可能な範囲で、  
安全・安心な学校施設の整備・充実を図ります。

効果的で充実した教育活動を図るため、施設の老朽化に対応した計画的な整備・更新を行います。

財政負担を考慮して、従来と同じ手法による整備を見直し、適切な時期に適切な改修を行うことで、長寿命化によるトータルコストの縮減と人口減少社会に合わせた施設保有量の適正化を図ります。



III 学校施設の実態

1. 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 計画対象施設

学校施設 87 校の敷地内にある延べ床面積 200 m<sup>2</sup>以上の建物（休校、倉庫や部室を除く）と、公民館 40 館を対象としています。

対象棟数	394 棟	延べ床面積合計	632,767 m <sup>2</sup>
------	-------	---------	------------------------

●学校施設

	学校数	棟数	延床面積 (m <sup>2</sup> )
小学校	53	207	367,158
中学校	29	136	231,649
幼稚園	5	5	4,155
計	87	348	602,962

●公民館施設

	館数	棟数	延床面積 (m <sup>2</sup> )
公民館	40	46	29,805

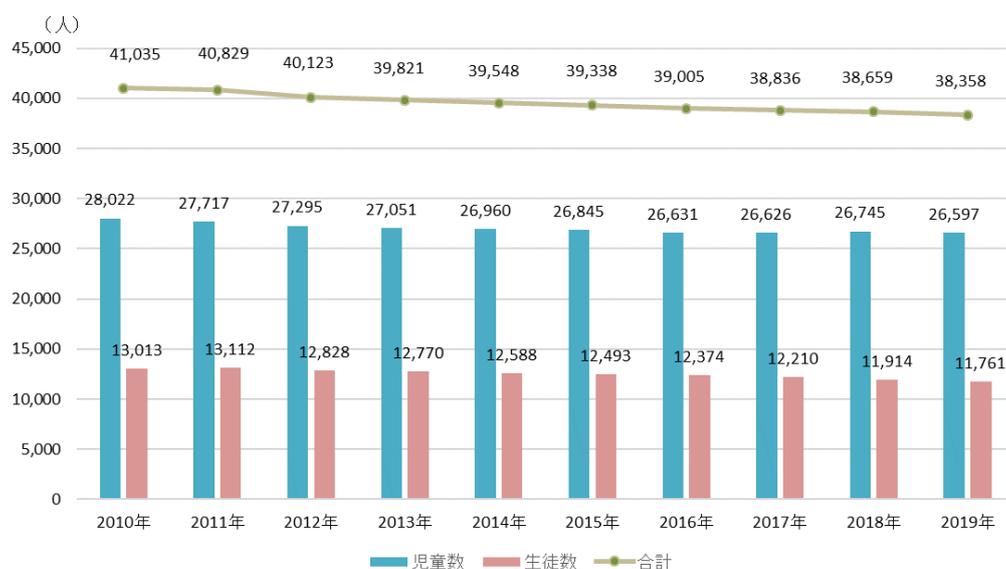
※200m<sup>2</sup>未満の倉庫や部室、休校（6校）となっている施設は長寿命化対象施設から除外します。

(2) 児童生徒数及び学級数の変化

1) 児童生徒数の推移

2019（平成 31）年度の児童（小学校）数は 26,597 人、生徒（中学校）数は、11,761 人です。2010（平成 22）年度に対し、児童数は 1,425 人（5.1%）減少、生徒数は 1,252 人（9.6%）減少となっています。合計では 2,677 人（6.5%）減少となっています。

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
児童数	28,022	27,717	27,295	27,051	26,960	26,845	26,631	26,626	26,745	26,597
生徒数	13,013	13,112	12,828	12,770	12,588	12,493	12,374	12,210	11,914	11,761
合計	41,035	40,829	40,123	39,821	39,548	39,338	39,005	38,836	38,659	38,358



2) 学級数の推移

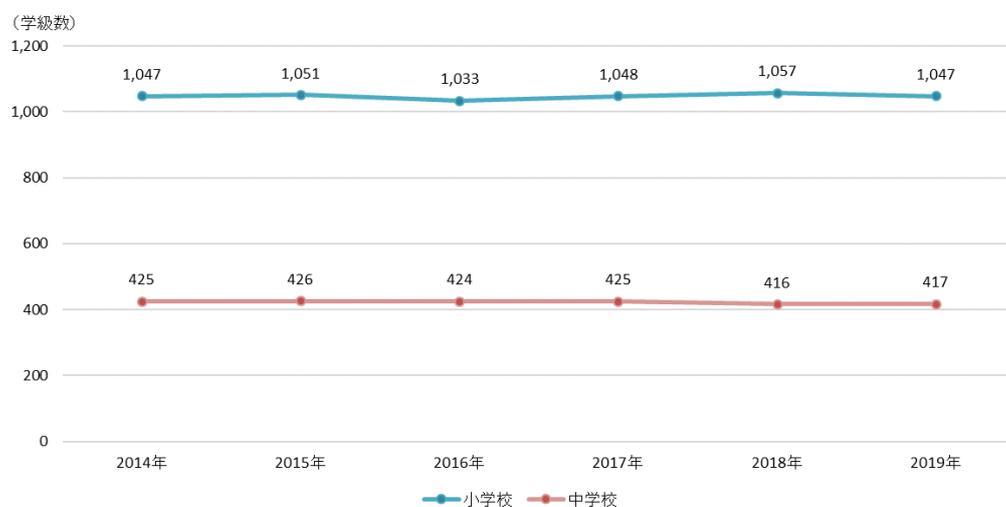
小学校における学級数は、2014（平成 26）年度と 2019（平成 31）年度で同じですが、特別支援学級は 31 学級増加しています。

中学校における学級数は、横ばいで推移していましたが、2019（平成 31）年度は、2014 年度（平成 26）と比べて 8 学級の減少が見られます。

特別支援学級は、小中学校共に 5 年前に比べて増加しています。

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
小学校	1,047 (130)	1,051 (135)	1,033 (151)	1,048 (145)	1,057 (151)	1,047 (161)
中学校	425 (56)	426 (57)	424 (61)	425 (65)	416 (68)	417 (71)

※ ( ) カッコ内は特別支援学級数



3) 児童生徒数の予測

今後、急激な児童生徒数の減少が予測され、2020年から2070年で19,869人(53.4%)の減少が予測されます。

	実測値		推計値									
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
児童・生徒数推移	39,338	37,191	34,365	31,629	29,520	27,969	26,476	24,696	22,893	20,827	18,994	17,322
減少率			7.6%	15.0%	20.6%	24.8%	28.8%	33.6%	38.4%	44.0%	48.9%	53.4%

(※) 2020年の児童生徒数の合計を100とした時の減少率

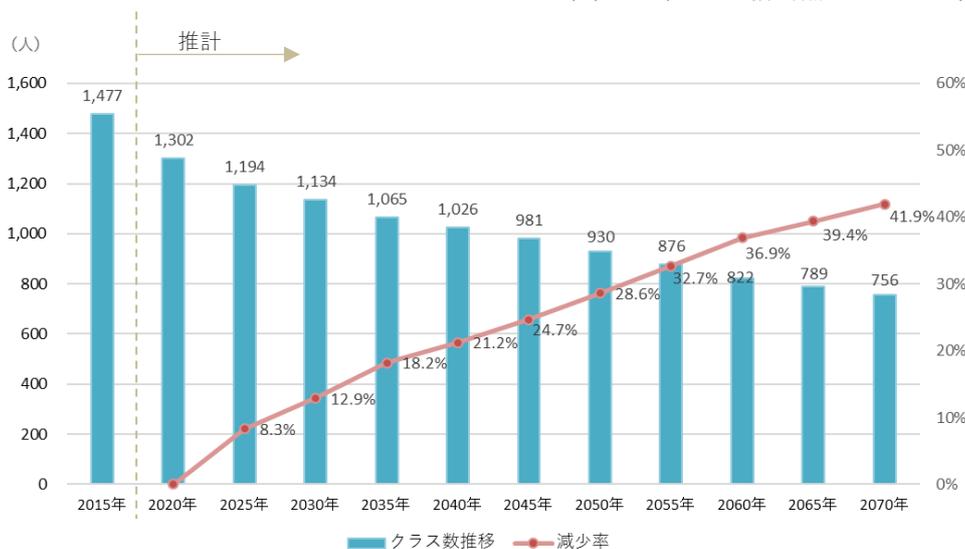


4) 学級数の予測

児童生徒数の減少にともない、小中学校の学級数も減少が予測されます。2020年から2070年で546クラス(41.9%)の減少が予測されます。

	実測値		推計値									
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
クラス数推移	1,477	1,302	1,194	1,134	1,065	1,026	981	930	876	822	789	756
減少率			8.3%	12.9%	18.2%	21.2%	24.7%	28.6%	32.7%	36.9%	39.4%	41.9%

(※) 2020年のクラス数の合計を100とした時の減少率

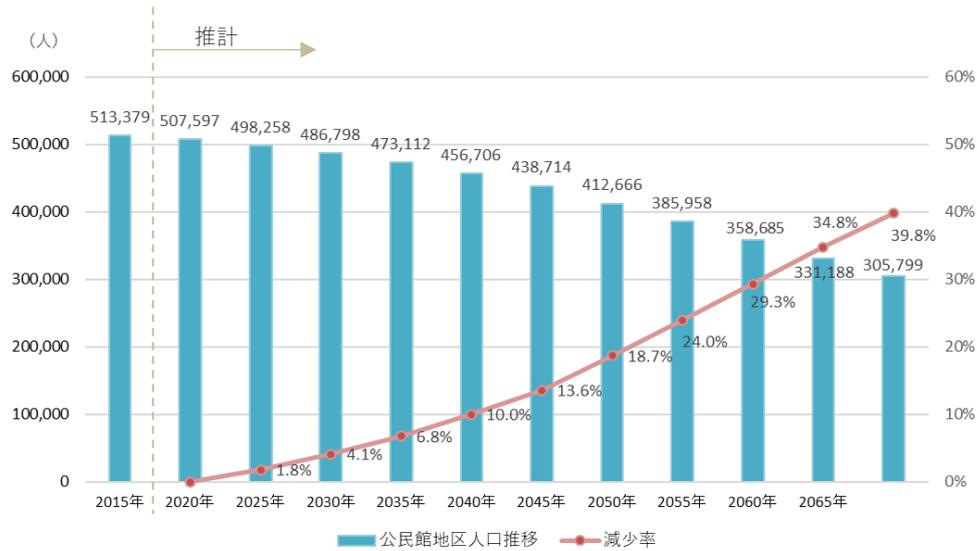


5) 公民館地区単位人口の予測

公民館地区単位人口の減少が予測され、2020年から2070年で201,798人(39.8%)の減少が予測されます。

	実測値		推計値									
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
公民館地区人口推移	513,379	507,597	498,258	486,798	473,112	456,706	438,714	412,666	385,958	358,685	331,188	305,799
減少率			1.8%	4.1%	6.8%	10.0%	13.6%	18.7%	24.0%	29.3%	34.8%	39.8%

(※) 2020年の公民館地区単位の人口数の合計を100とした時の減少率



※児童生徒数及び公民館地区単位の人口予測は、2015年の国勢調査の人口を基に国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計により予測しています。

(3) 学校施設の活用状況

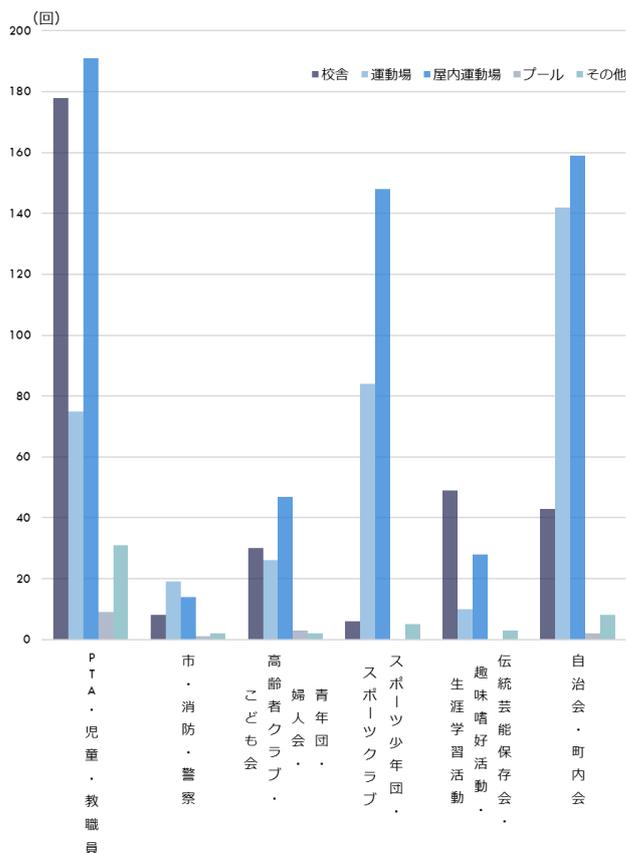
1) 地域住民への開放状況

①交流先・施設別年間利用回数

利用可能な施設の中では屋内運動場が最も利用され、利用している交流先ではPTA・児童・教職員が最も利用しています。次に自治会・町内会、スポーツ少年団・スポーツクラブの順に利用回数が多くなっています。

	校舎	運動場	屋内運動場	プール	その他	合計
PTA・児童・教職員	178	75	191	9	31	484
市・消防・警察	8	19	14	1	2	44
青年団・婦人会・高齢者クラブ・こども会	30	26	47	3	2	108
スポーツ少年団・スポーツクラブ	6	84	148	0	5	243
伝統芸能保存会・趣味嗜好活動・生涯学習活動	49	10	28	0	3	90
自治会・町内会	43	142	159	2	8	354
合計	314	356	587	15	51	1323

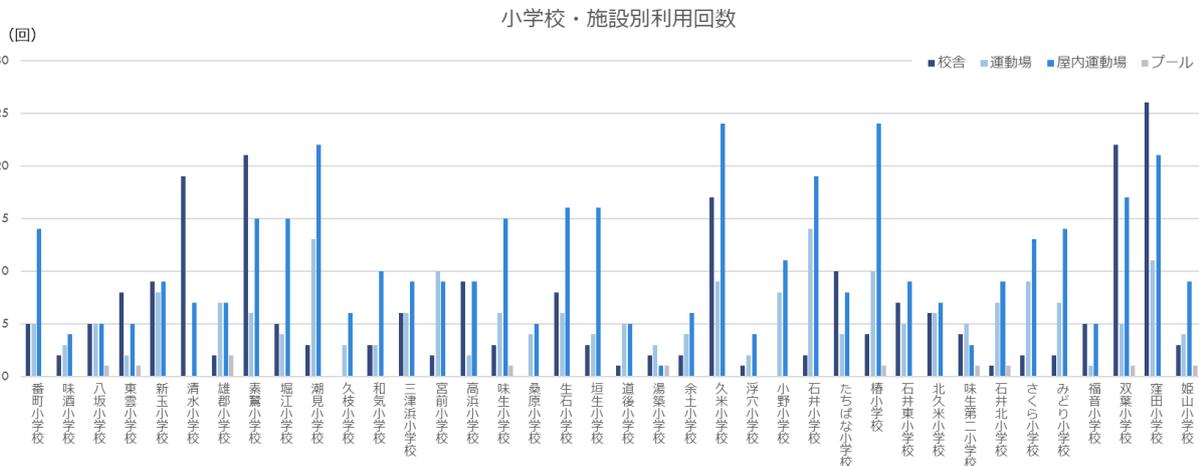
交流先・施設別年間利用回数



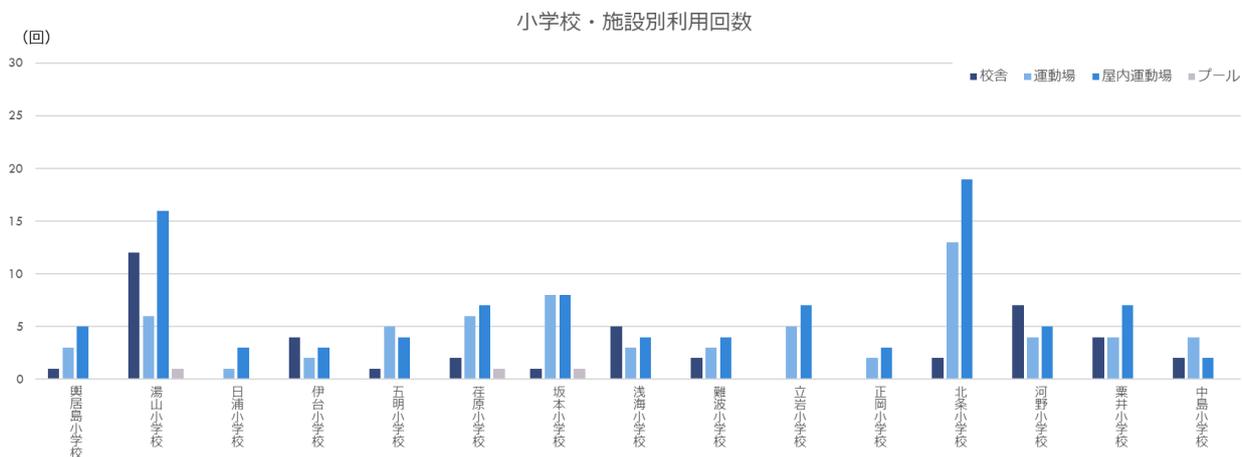
②小学校・施設別年間利用回数

対象小学校 53 校全て利用されており、年間で 1,076 回施設を利用しています。1 校当たり平均で 20 回利用されているという事になります。

	校舎		運動場		屋内運動場		プール		合計 (回)
	利用数 (回)	面積 (㎡)							
番町小学校	5	-	5	6,516	14	818	0	438	24
味酒小学校	2	-	3	5,503	4	1,226	0	375	9
八坂小学校	5	-	5	7,695	5	1,026	1	375	16
東雲小学校	8	-	2	5,166	5	866	1	-	16
新玉小学校	9	-	8	8,880	9	1,026	0	375	26
清水小学校	19	-	0	6,521	7	1,000	0	438	26
雄郡小学校	2	-	7	6,918	7	1,226	2	500	18
素鷲小学校	21	-	6	8,099	15	1,226	0	375	42
堀江小学校	5	-	4	9,863	15	1,187	0	375	24
潮見小学校	3	-	13	6,424	22	1,049	0	313	38
久枝小学校	0	-	3	2,073	6	1,226	0	500	9
和氣小学校	3	-	3	10,669	10	1,101	0	375	16
三津浜小学校	6	-	6	8,397	9	818	0	375	21
宮前小学校	2	-	10	7,774	9	800	0	375	21
高浜小学校	9	-	2	9,952	9	660	0	375	20
味生小学校	3	-	6	4,673	15	1,132	1	600	25
桑原小学校	0	-	4	8,105	5	1,026	0	375	9
生石小学校	8	-	6	10,044	16	1,026	0	375	30
垣生小学校	3	-	4	1,320	16	17,779	0	538	23
道後小学校	1	-	5	5,691	5	1,289	0	375	11
湯築小学校	2	-	3	6,920	1	660	1	375	7
余土小学校	2	-	4	4,279	6	1,061	0	-	12
久米小学校	17	-	9	11,636	24	1,164	0	538	50
浮穴小学校	1	-	2	11,327	4	1,002	0	500	7
小野小学校	0	-	8	7,635	11	1,000	0	500	19
石井小学校	2	-	14	8,511	19	1,215	0	600	35
たちばな小学校	10	-	4	12,238	8	819	0	375	22
橋小学校	4	-	10	9,728	24	1,018	1	600	39
石井東小学校	7	-	5	9,030	9	1,018	0	500	21
北久米小学校	6	-	6	9,218	7	1,001	0	500	19
味生第二小学校	4	-	5	12,424	3	1,019	1	438	13
石井北小学校	1	-	7	8,395	9	1,507	1	425	18
さくら小学校	2	-	9	9,491	13	1,171	0	-	24
みどり小学校	2	-	7	10,098	14	1,146	0	363	23
福音小学校	5	-	1	10,528	5	1,069	0	475	11
双葉小学校	22	-	5	9,376	17	1,238	1	475	45
窪田小学校	26	-	11	9,260	21	1,408	0	312	58
姫山小学校	3	-	4	9,556	9	1,383	1	475	17
合計	230		216		407		11		864



	校舎		運動場		屋内運動場		プール		合計 (回)
	利用数 (回)	面積 (㎡)							
興居島小学校	1	-	3	1,417	5	894	0	313	9
湯山小学校	12	-	6	7,787	16	818	1	375	35
日浦小学校	0	-	1	6,565	3	879	0	250	4
伊台小学校	4	-	2	5,720	3	600	0	375	9
五明小学校	1	-	5	2,630	4	393	0	313	10
荏原小学校	2	-	6	7,745	7	818	1	375	16
坂本小学校	1	-	8	4,500	8	818	1	313	18
浅海小学校	5	-	3	6,170	4	801	0	-	12
難波小学校	2	-	3	7,498	4	650	0	275	9
立岩小学校	0	-	5	5,813	7	801	0	385	12
正岡小学校	0	-	2	5,242	3	802	0	275	5
北条小学校	2	-	13	9,720	19	1,089	0	425	34
河野小学校	7	-	4	7,674	5	774	0	488	16
粟井小学校	4	-	4	8,276	7	1,220	0	275	15
中島小学校	2	-	4	3,920	2	636	0	-	8
合計	43		69		97		3		212

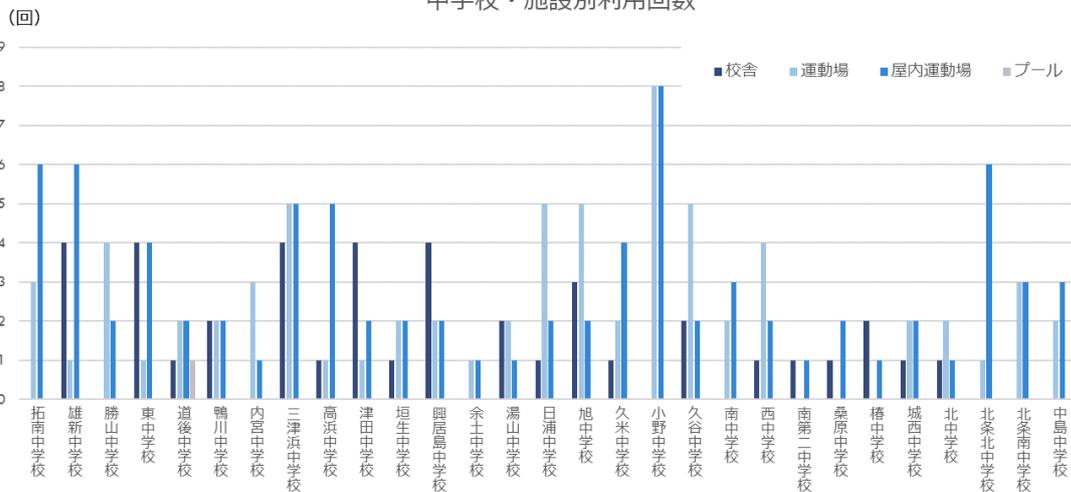


③中学校・施設別年間利用回数

対象中学校 29 校全て利用されており、年間で 211 回施設を利用しています。1 校当たり平均で 7 回利用されているという事になります。

	校舎		運動場		屋内運動場		プール		その他 利用数 (回)	合計 (回)
	利用数 (回)	面積 (㎡)								
拓南中学校	0	-	3	10,473	6	992	0	563	0	9
雄新中学校	4	-	1	11,417	6	1,482	0	500	1	12
勝山中学校	0	-	4	9,759	2	992	0	1,000	0	6
東中学校	4	-	1	7,756	4	1,000	0	-	1	10
道後中学校	1	-	2	11,285	2	1,026	1	375	0	6
鴨川中学校	2	-	2	7,580	2	1,226	0	375	0	6
内宮中学校	0	-	3	4,688	1	1,026	0	375	0	4
三津浜中学校	4	-	5	7,193	5	1,026	0	500	0	14
高浜中学校	1	-	1	7,690	5	1,747	0	375	0	7
津田中学校	4	-	1	13,438	2	1,018	0	500	0	7
垣生中学校	1	-	2	11,143	2	1,018	0	438	2	7
興居島中学校	4	-	2	1,418	2	896	0	313	1	9
余土中学校	0	-	1	16,437	1	2,243	0	-	2	4
湯山中学校	2	-	2	10,132	1	1,098	0	375	0	5
日浦中学校	1	-	5	3,862	2	364	0	375	2	10
旭中学校	3	-	5	10,332	2	1,180	0	375	1	11
久米中学校	1	-	2	15,351	4	1,018	0	438	0	7
小野中学校	0	-	8	11,315	8	1,543	0	500	0	16
久谷中学校	2	-	5	11,681	2	1,330	0	375	1	10
南中学校	0	-	2	11,883	3	100	0	500	0	5
西中学校	1	-	4	11,564	2	1,019	0	500	0	7
南第二中学校	1	-	0	13,644	1	1,019	0	500	1	3
桑原中学校	1	-	0	5,463	2	1,251	0	500	1	4
椿中学校	2	-	0	10,959	1	1,313	0	500	0	3
城西中学校	1	-	2	15,126	2	1,628	0	500	1	6
北中学校	1	-	2	13,350	1	1,592	0	500	0	4
北条北中学校	0	-	1	25,020	6	2,499	0	425	0	7
北条南中学校	0	-	3	22,895	3	1,176	0	425	0	6
中島中学校	0	-	2	5,082	3	1,190	0	-	1	6
合計	41		71		83		1		15	211

中学校・施設別利用回数

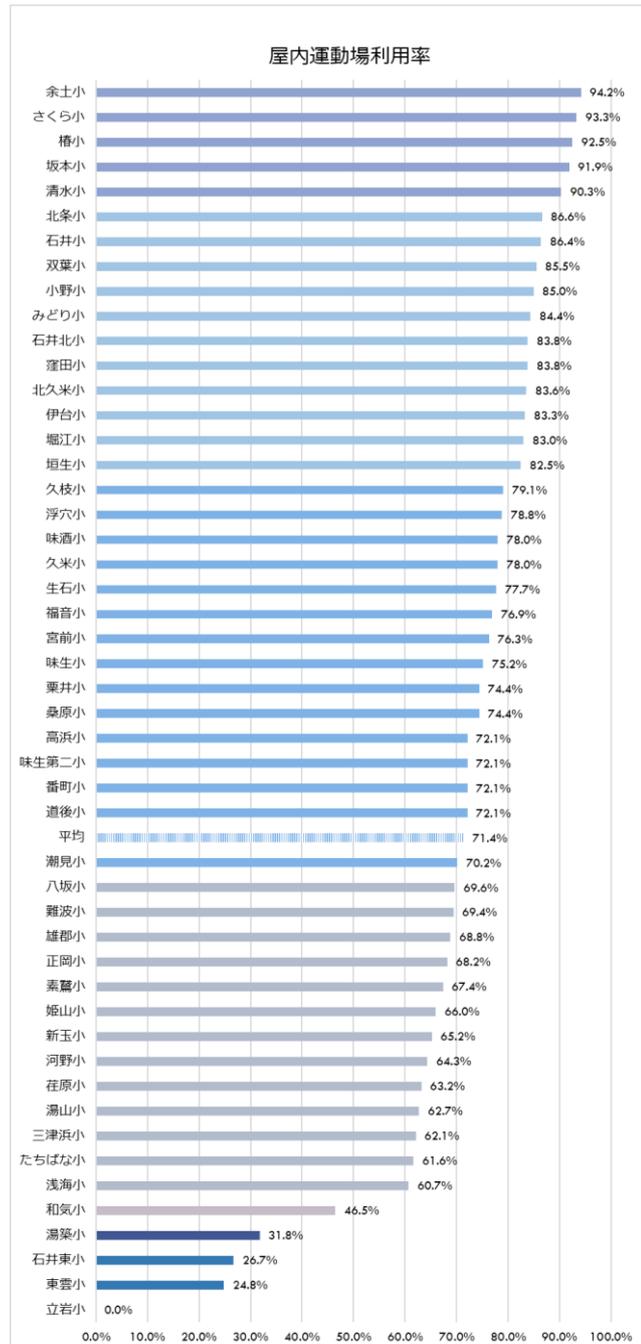


2) 公民館窓口による社会体育での利用状況

①屋内運動場活用状況（小学校）

対象小学校 53 校のうち、体育館を夜間開放している小学校は 49 校あります。開放日数はいずれも 359 日です。利用率が 5 割を超える小学校が 44 校あり、開放されている屋内運動場のほとんどが利用しています。

	面積 (㎡)	利用日数 (日)	利用率
余土小	1,061	338	94.2%
さくら小	1,171	335	93.3%
樺小	1,018	332	92.5%
坂本小	818	330	91.9%
清水小	1,000	324	90.3%
北条小	1,089	311	86.6%
石井小	1,000	310	86.4%
双葉小	1,238	307	85.5%
小野小	1,000	305	85.0%
みどり小	1,146	303	84.4%
石井北小	1,408	301	83.8%
窪田小	1,507	301	83.8%
北久米小	1,001	300	83.6%
伊台小	600	299	83.3%
堀江小	1,187	298	83.0%
垣生小	1,320	296	82.5%
久枝小	1,226	284	79.1%
浮穴小	1,002	283	78.8%
味酒小	1,164	280	78.0%
久米小	1,226	280	78.0%
生石小	1,026	279	77.7%
福音小	1,069	276	76.9%
宮前小	800	274	76.3%
味生小	1,132	270	75.2%
粟井小	1,026	267	74.4%
桑原小	1,220	267	74.4%
高浜小	1,289	259	72.1%
味生第二小	818	259	72.1%
番町小	1,019	259	72.1%
道後小	660	259	72.1%
潮見小	1,049	252	70.2%
八坂小	1,026	250	69.6%
難波小	650	249	69.4%
雄郡小	1,226	247	68.8%
正岡小	802	245	68.2%
素鷲小	1,226	242	67.4%
姫山小	1,383	237	66.0%
新玉小	1,026	234	65.2%
河野小	774	231	64.3%
荏原小	7,745	227	63.2%
湯山小	818	225	62.7%
三津浜小	818	223	62.1%
たちばな小	819	221	61.6%
浅海小	801	218	60.7%
和氣小	1,101	167	46.5%
湯築小	660	114	31.8%
石井東小	1,018	96	26.7%
東雲小	866	89	24.8%
立岩小	801	0	0.0%
平均			71.4%

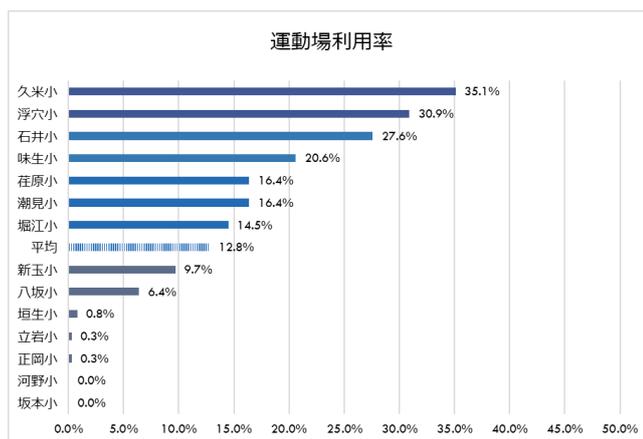




②運動場活用状況（小学校）

対象小学校 53 校のうち、運動場を夜間開放している小学校は 14 校あります。開放日数はいずれも 359 日で、運動場は屋内運動場に対し利用率が低いです。

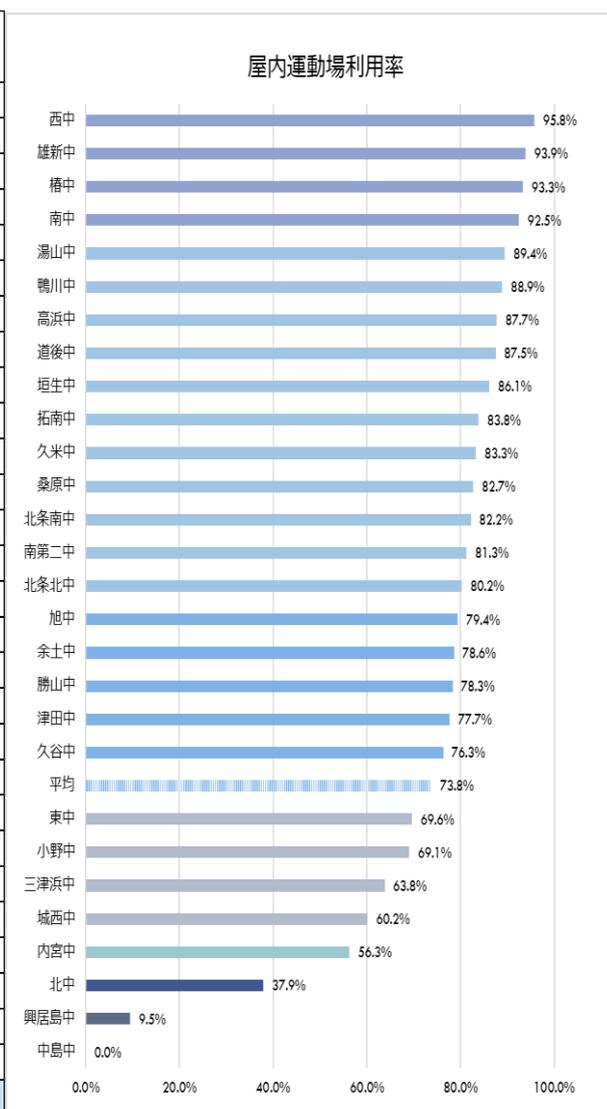
	面積 (㎡)	利用日数 (日)	利用率
久米小	11,636	126	35.1%
浮穴小	11,327	111	30.9%
石井小	8,511	99	27.6%
味生小	7,952	74	20.6%
荏原小	7,745	59	16.4%
潮見小	6,424	59	16.4%
堀江小	9,863	52	14.5%
新玉小	8,880	35	9.7%
八坂小	7,695	23	6.4%
垣生小	17,779	3	0.8%
立岩小	5,813	1	0.3%
正岡小	5,242	1	0.3%
河野小	7,674	0	0.0%
坂本小	4,500	0	0.0%
平均			12.8%



③屋内運動場活用状況（中学校）

対象中学校 29 校のうち、屋内運動場を夜間開放している中学校は 28 校あります。開放日数はいずれも 359 日です。利用率が 5 割を超える中学校が 25 校あり、開放されている屋内運動場のほとんどが利用しています。

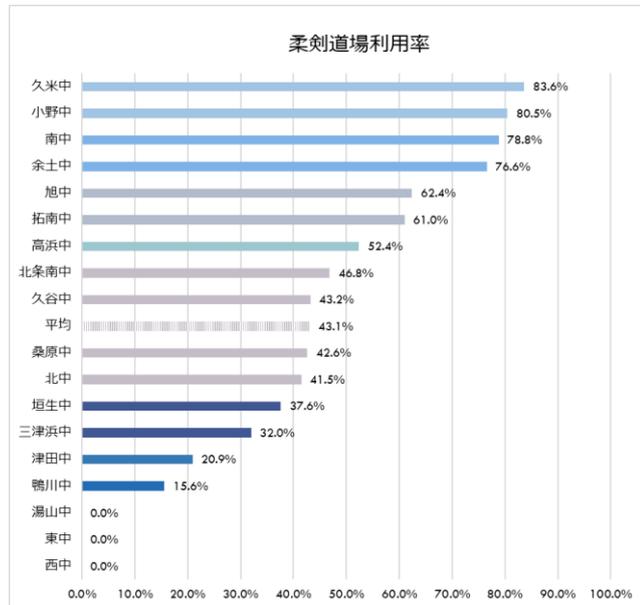
	面積 (㎡)	利用日数 (日)	利用率
西中	1,019	344	95.8%
雄新中	1,482	337	93.9%
椿中	1,313	335	93.3%
南中	1,000	332	92.5%
湯山中	1,098	321	89.4%
鴨川中	1,226	319	88.9%
高浜中	1,747	315	87.7%
道後中	1,026	314	87.5%
垣生中	1,018	309	86.1%
拓南中	992	301	83.8%
久米中	1,018	299	83.3%
桑原中	1,251	297	82.7%
北条南中	1,176	295	82.2%
南第二中	1,019	292	81.3%
北条北中	2,499	288	80.2%
旭中	1,180	285	79.4%
余土中	2,243	282	78.6%
勝山中	992	281	78.3%
津田中	1,018	279	77.7%
久谷中	1,330	274	76.3%
東中	1,000	250	69.6%
小野中	1,543	248	69.1%
三津浜中	1,026	229	63.8%
城西中	1,628	216	60.2%
内宮中	1,026	202	56.3%
北中	1,592	136	37.9%
興居島中	896	34	9.5%
中島中	1,190	0	0.0%
平均			73.8%



④柔剣道場活用状況（中学校）

対象中学校 29 校のうち、柔剣道場を夜間開放している中学校は 18 校あります。開放日数はいずれも 359 日です。利用率は中学校ごとにばらつきがあります。

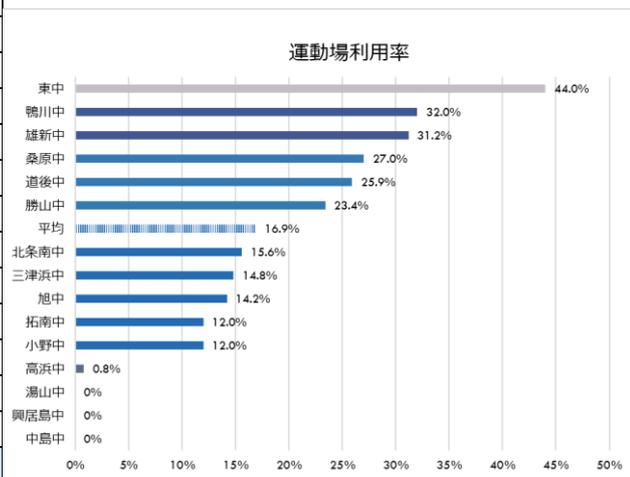
	面積 (㎡)	利用日数 (日)	利用率
久米中	645	300	83.6%
小野中	681	289	80.5%
南中	591	283	78.8%
余土中	645	275	76.6%
旭中	535	224	62.4%
拓南中	591	219	61.0%
高浜中	524	188	52.4%
北条南中	480	168	46.8%
久谷中	597	155	43.2%
桑原中	645	153	42.6%
北中	555	149	41.5%
垣生中	645	135	37.6%
三津浜中	591	115	32.0%
津田中	591	75	20.9%
鴨川中	591	56	15.6%
湯山中	550	0	0.0%
東中	250	0	0.0%
西中	645	0	0.0%
平均			43.1%



⑤運動場活用状況（中学校）

対象中学校 29 校のうち、運動場を夜間開放している中学校は 15 校あります。開放日数はいずれも 359 日です。運動場は屋内運動場に対し利用率が低いです。

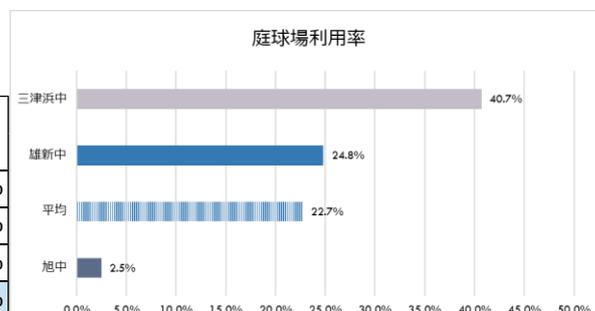
	面積 (m)	利用日数 (日)	利用率
東中	7,756	158	44.0%
鴨川中	7,580	115	32.0%
雄新中	11,417	112	31.2%
桑原中	14,570	97	27.0%
道後中	11,285	93	25.9%
勝山中	9,759	84	23.4%
北条南中	22,895	56	15.6%
三津浜中	7,193	53	14.8%
旭中	10,332	51	14.2%
小野中	11,315	43	12.0%
拓南中	10,473	43	12.0%
高浜中	7,690	3	0.8%
湯山中	10,132	0	0.0%
興居島中	1,418	0	0.0%
中島中	5,082	0	0.0%
平均			16.9%



⑥庭球場活用状況（中学校）

対象中学校 29 校のうち、庭球場を夜間開放している中学校は 3 校あります。開放日数はいずれも 359 日です。庭球場を開放している中学校全ての学校で利用されています。

	コート数 (面)	利用日数 (日)	利用率
三津浜中	2	146	40.7%
雄新中	4	89	24.8%
旭中	6	9	2.5%
平均			22.7%



(4) 教育環境の把握

1. 学校施設（小学校・中学校・幼稚園）

計画対象建物総数 348 棟に対して各内容の割合は以下の通りです。

内容	数量	割合	備考
外廊下建物	4棟	1.1%	
乾式トイレ	132棟	46.2%	トイレなし校舎を除く
湿式トイレ	154棟	53.8%	トイレなし校舎を除く
バリアフリー化された学校	2校	2.4%	休校を除く、EV設置校
空調設備が設置された学校	87校	100%	休校を除く
LED照明が設置された学校	67校	77.0%	休校を除く

2. 公民館

対象公民館建物総数 41 棟に対して各内容の割合は以下の通りです。

内容	数量	割合	備考
バリアフリー化された建物	14棟	34.2%	
部分的にバリアフリー化された建物	3棟	7.3%	多目的トイレがない
バリアフリー化されていない建物	24棟	58.5%	EVがない等段差あり

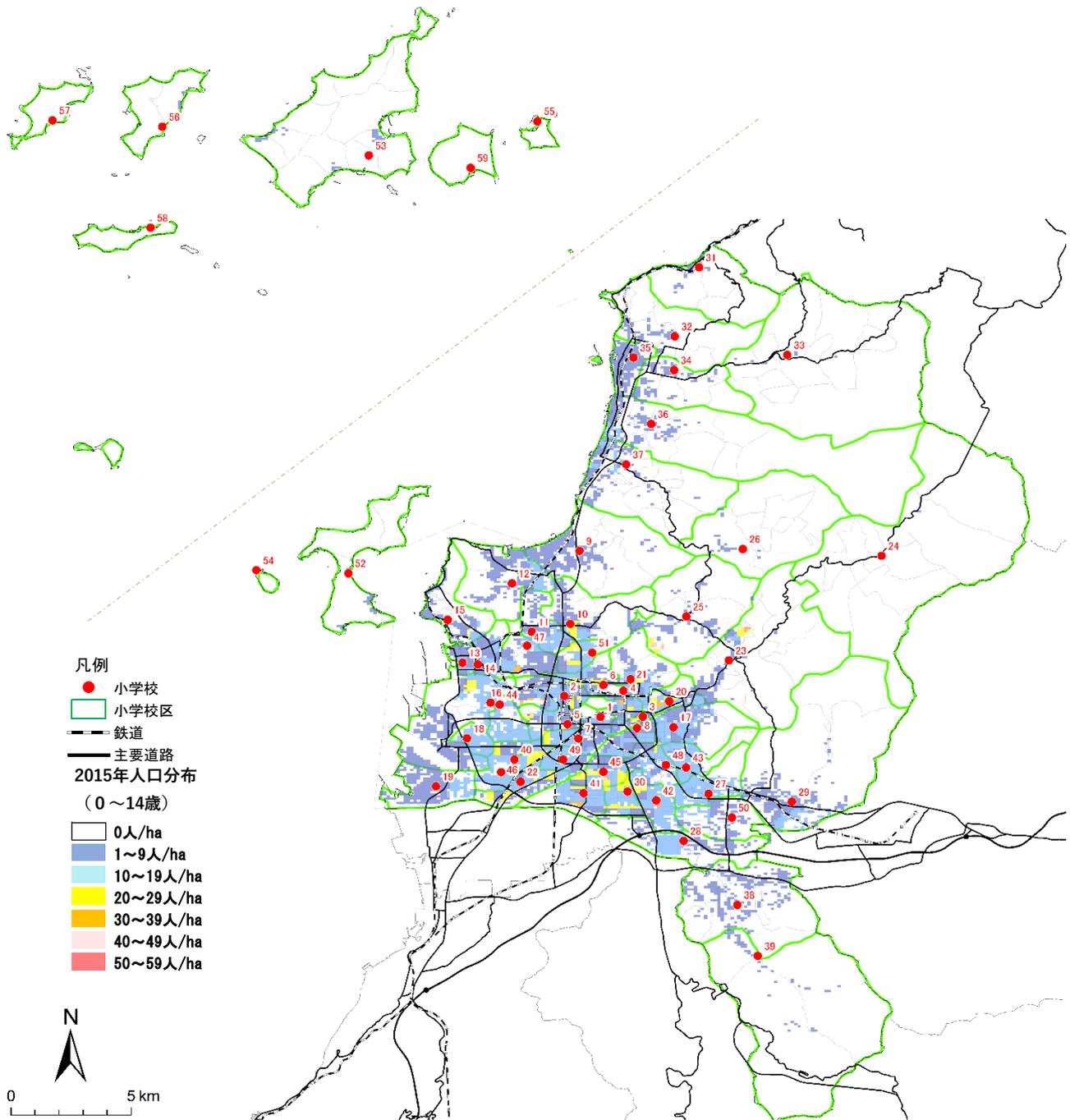
倉庫等を除いた棟数

(5) 地域別の将来人口変化と学校の配置状況

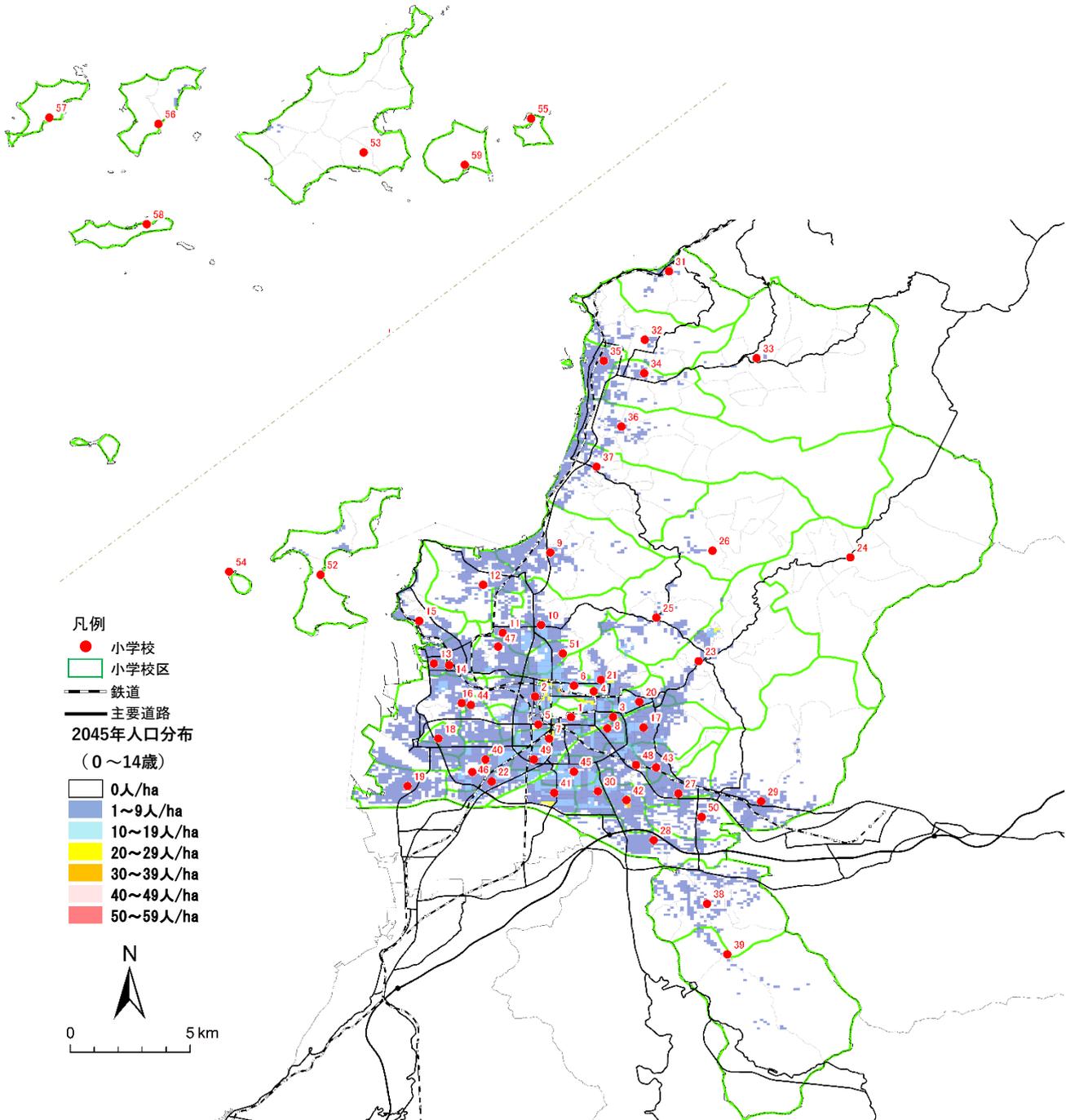
① 小学校区別人口分布

2015年では10～19人/ha、20～29人/haの分布がみられますが、2045年になると9人/ha未満の分布が多くみられるようになります。

2015年小学校区別人口密度分布



2045年小学校区人口密度分布



小学校一覧

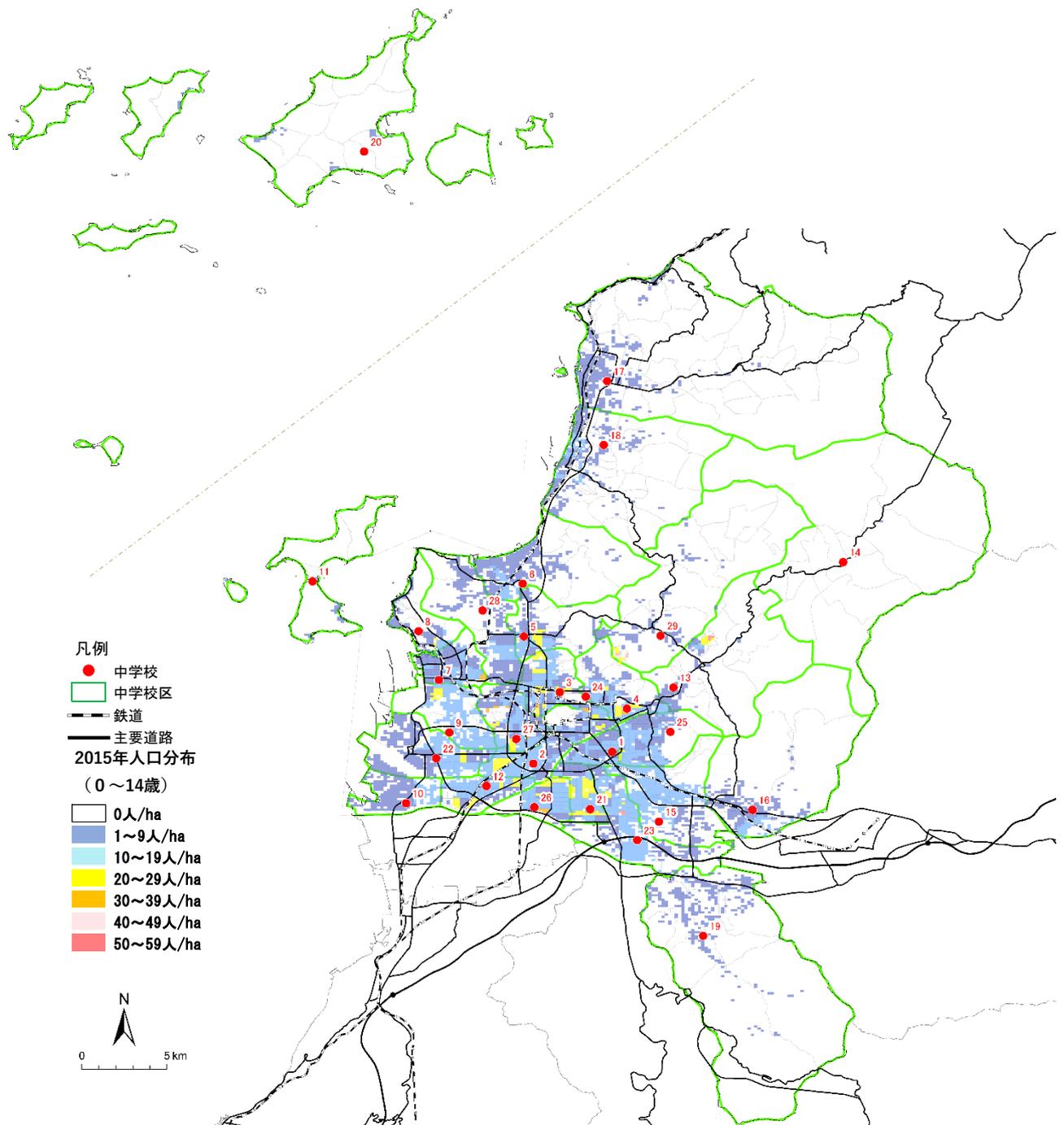
1 番町小学校	11 久枝小学校	21 湯築小学校	31 浅海小学校	41 椿小学校	51 姫山小学校
2 味酒小学校	12 和気小学校	22 余土小学校	32 難波小学校	42 石井東小学校	52 興居島小学校
3 八坂小学校	13 三津浜小学校	23 湯山小学校	33 立岩小学校	43 北久米小学校	53 中島小学校
4 東雲小学校	14 宮前小学校	24 日浦小学校	34 正岡小学校	44 味生第二小学校	54 興居島小学校釣島分校※
5 新玉小学校	15 高浜小学校	25 伊台小学校	35 北条小学校	45 石井北小学校	55 野忽那小学校※
6 清水小学校	16 味生小学校	26 五明小学校	36 河野小学校	46 さくら小学校	56 怒和小学校※
7 雄郡小学校	17 桑原小学校	27 久米小学校	37 粟井小学校	47 みどり小学校	57 津和地小学校※
8 素鷺小学校	18 生石小学校	28 浮穴小学校	38 荻原小学校	48 福音小学校	58 二神小学校※
9 堀江小学校	19 垣生小学校	29 小野小学校	39 坂本小学校	49 双葉小学校	59 睦月小学校※
10 潮見小学校	20 道後小学校	30 石井小学校	40 たちばな小学校	50 窪田小学校	

※54～59は休校となっています

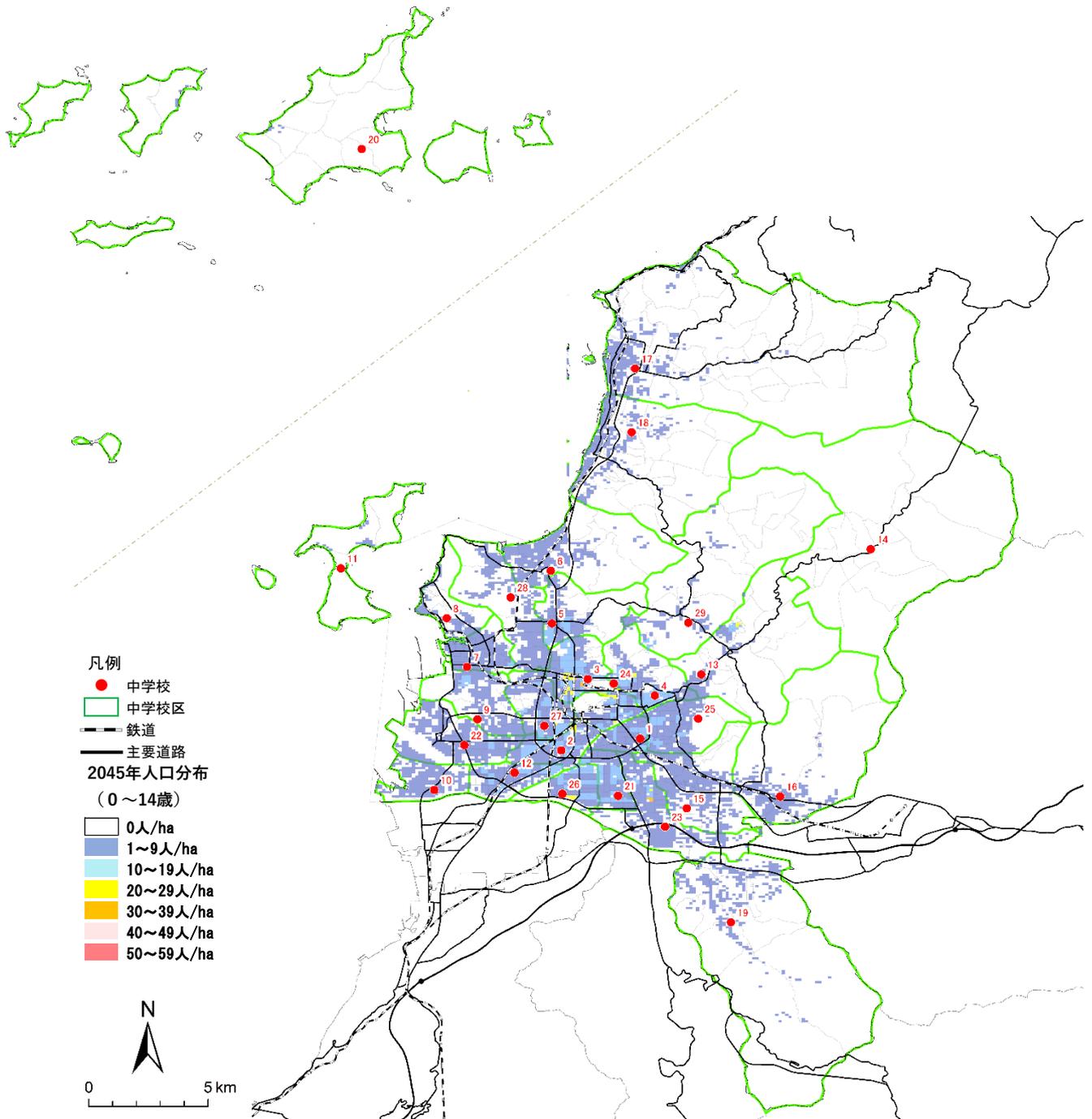
②中学校区別人口分布

2015年では10～19人/ha、20～29人/haの分布がみられますが、2045年になると20～29人/haの分布がほとんど見られません。

2015年中学校区別人口密度分布



2045年中学校区別人口密度分布



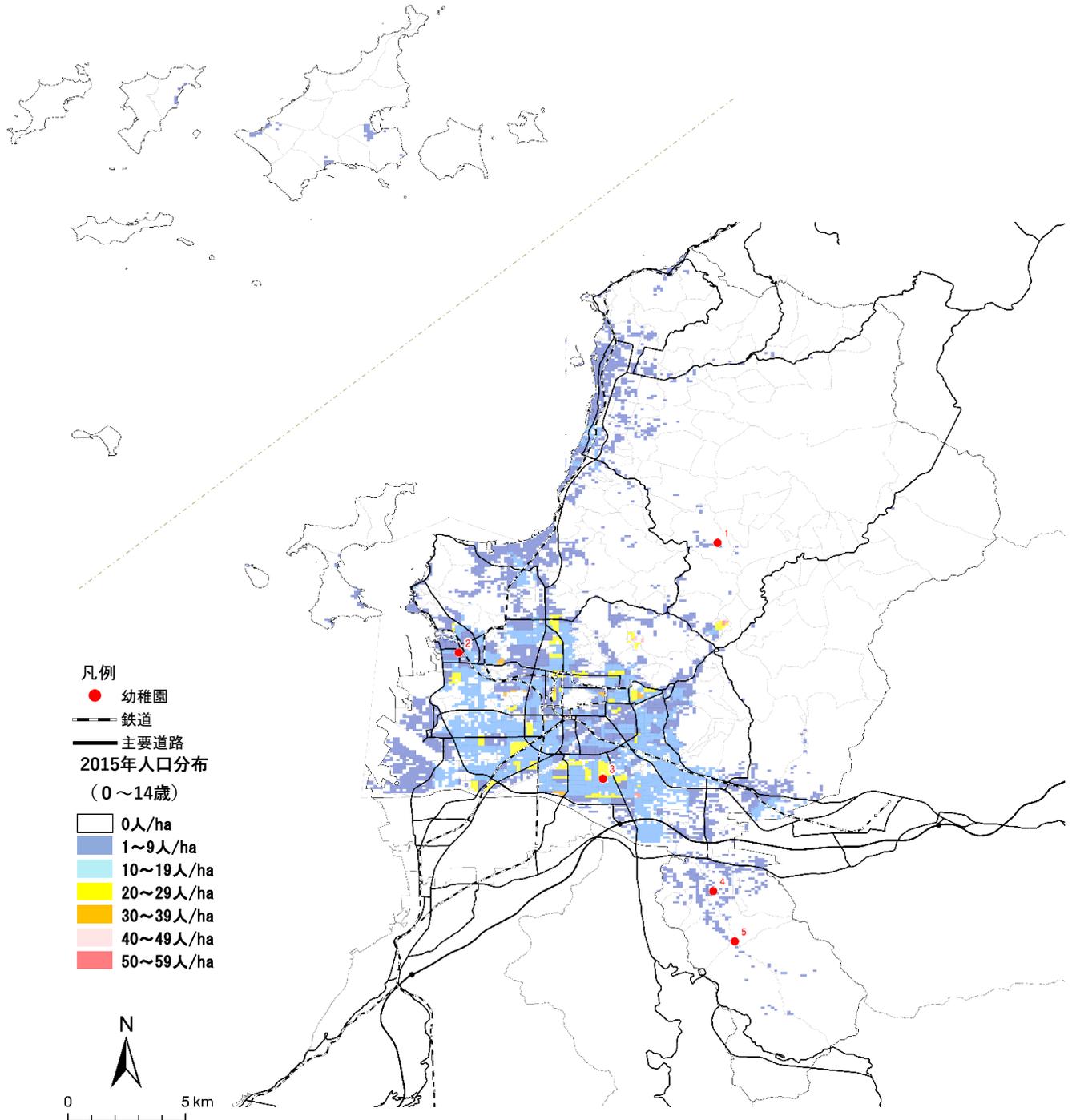
中学校一覧

1 拓南中学校	6 内宮中学校	11 興居島中学校	16 小野中学校	21 南中学校	26 樺中学校
2 雄新中学校	7 三津浜中学校	12 余土中学校	17 北条北中学校	22 西中学校	27 城西中学校
3 勝山中学校	8 高浜中学校	13 湯山中学校	18 北条南中学校	23 南第二中学校	28 北中学校
4 道後中学校	9 津田中学校	14 日浦中学校	19 久谷中学校	24 東中学校	29 旭中学校
5 鴨川中学校	10 垣生中学校	15 久米中学校	20 中島中学校	25 桑原中学校	

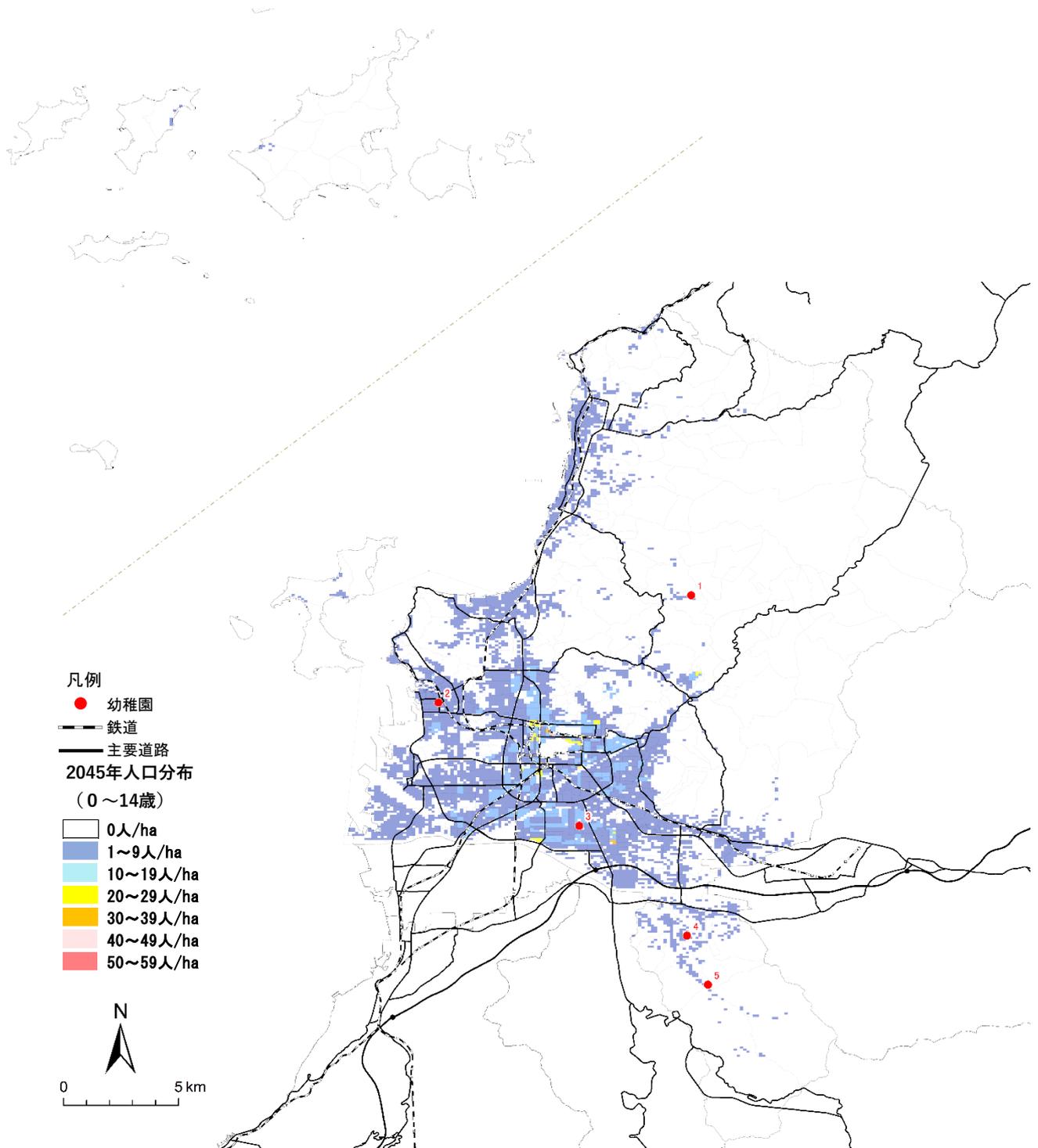
③幼稚園区別人口分布

2015年では10～19人/ha、20～29人/haの分布がみられますが、2045年になると20～29人/haの分布がほとんど見られません。

2015年幼稚園区別人口密度分布



2045年幼稚園区別人口密度分布



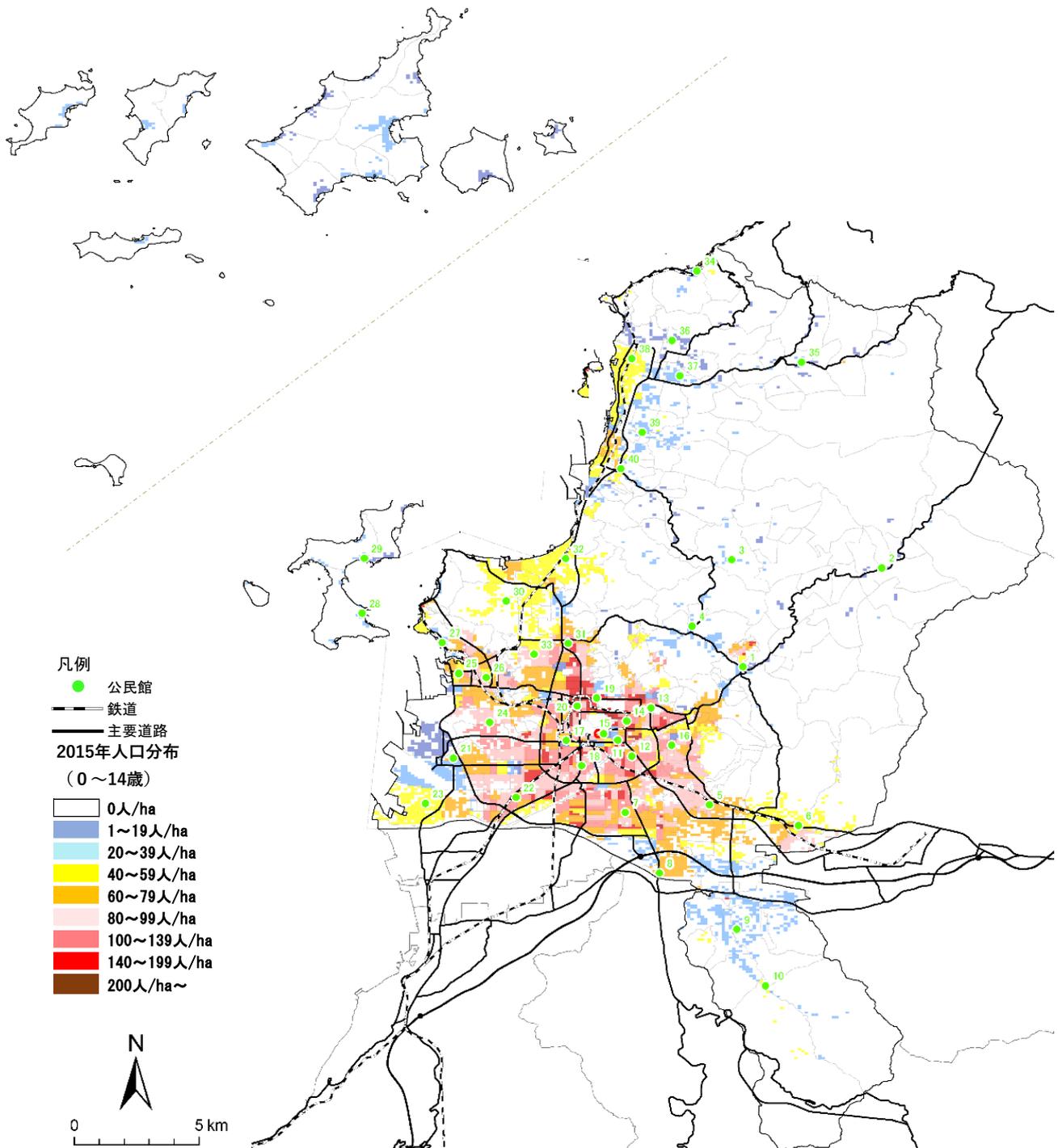
幼稚園一覧

1 五明幼稚園	2 三津浜幼稚園	3 石井幼稚園	4 荏原幼稚園	5 坂本幼稚園
---------	----------	---------	---------	---------

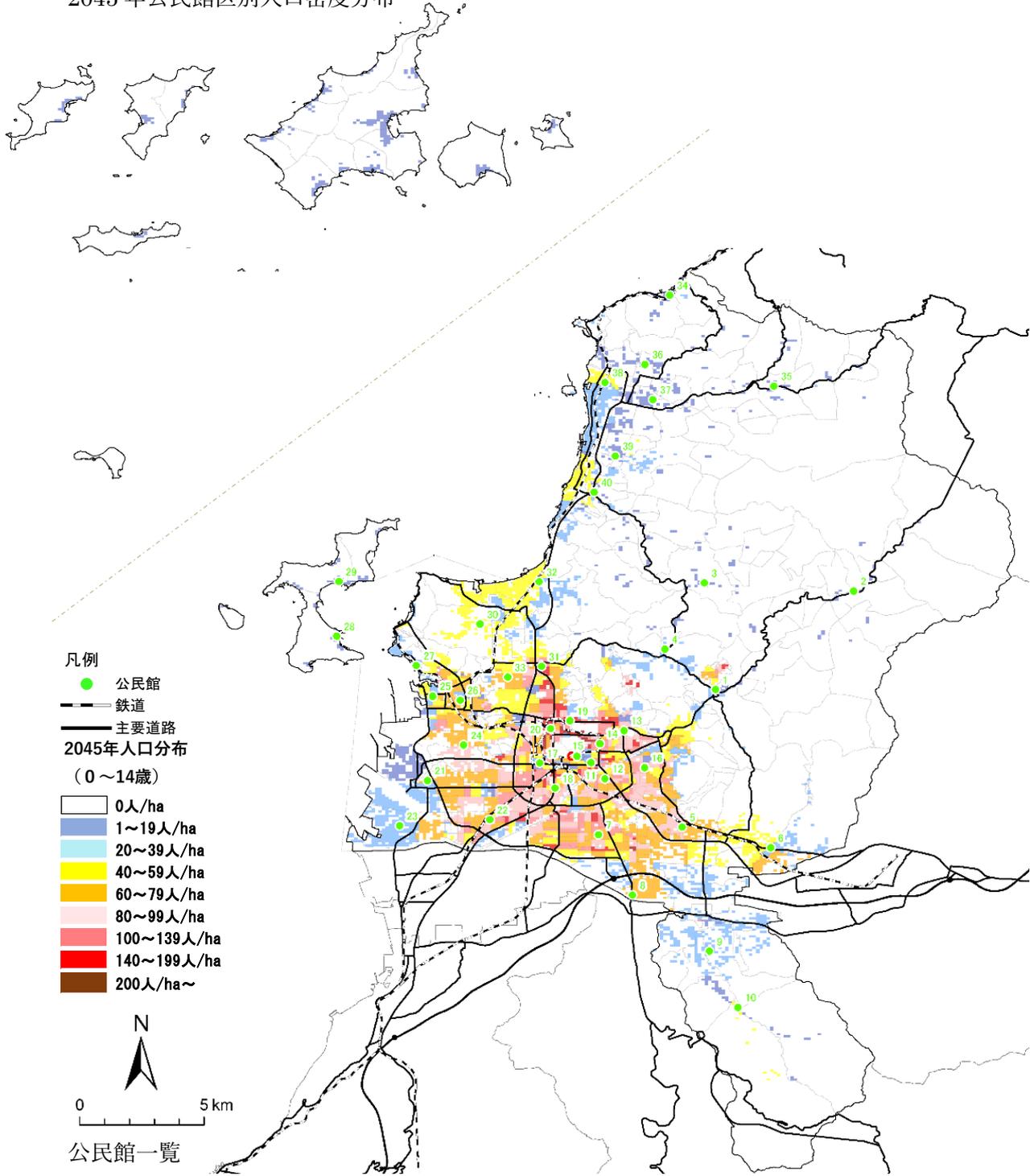
④公民館区別人口分布

中心部に人口が密集していることがわかります。2015年から2045年にかけて、人口の大きな変動は見られません。

2015年公民館区別人口密度分布



2045年公民館区別人口密度分布



1 湯山公民館	8 浮穴公民館	15 番町公民館	22 余土公民館	29 由良公民館	36 難波公民館
2 日浦公民館	9 荏原公民館	16 桑原公民館	23 垣生公民館	30 和気公民館	37 正岡公民館
3 五明公民館	10 坂本公民館	17 中央・新玉公民館	24 味生公民館	31 潮見公民館	38 北条公民館
4 伊台公民館	11 八坂公民館	18 雄郡公民館	25 三津浜公民館	32 堀江公民館	39 河野公民館
5 久米公民館	12 素鷲公民館	19 清水公民館	26 宮前公民館	33 久枝公民館	40 粟井公民館
6 小野公民館	13 道後公民館	20 味酒公民館	27 高浜公民館	34 浅海公民館	
7 石井公民館	14 東雲公民館	21 生石公民館	28 泊公民館	35 立岩公民館	

(6) 施設の関連経費の推移

過去の事業として「松山市学校施設耐震化推進計画」での実績値は以下の通りとなります。

この8年間の年平均は、34.7億円となっています。

単位：千円

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	合計
施設整備費	3,457,232	1,232,037	1,886,426	2,522,820	3,269,813	7,467,933	2,285,700	3,051,721	25,173,682
維持修繕費	336,030	291,675	332,604	352,394	305,049	304,493	318,345	310,067	2,550,657
合計	3,793,262	1,523,712	2,219,030	2,875,214	3,574,862	7,772,426	2,604,045	3,361,788	27,724,339

年平均：3,465,542

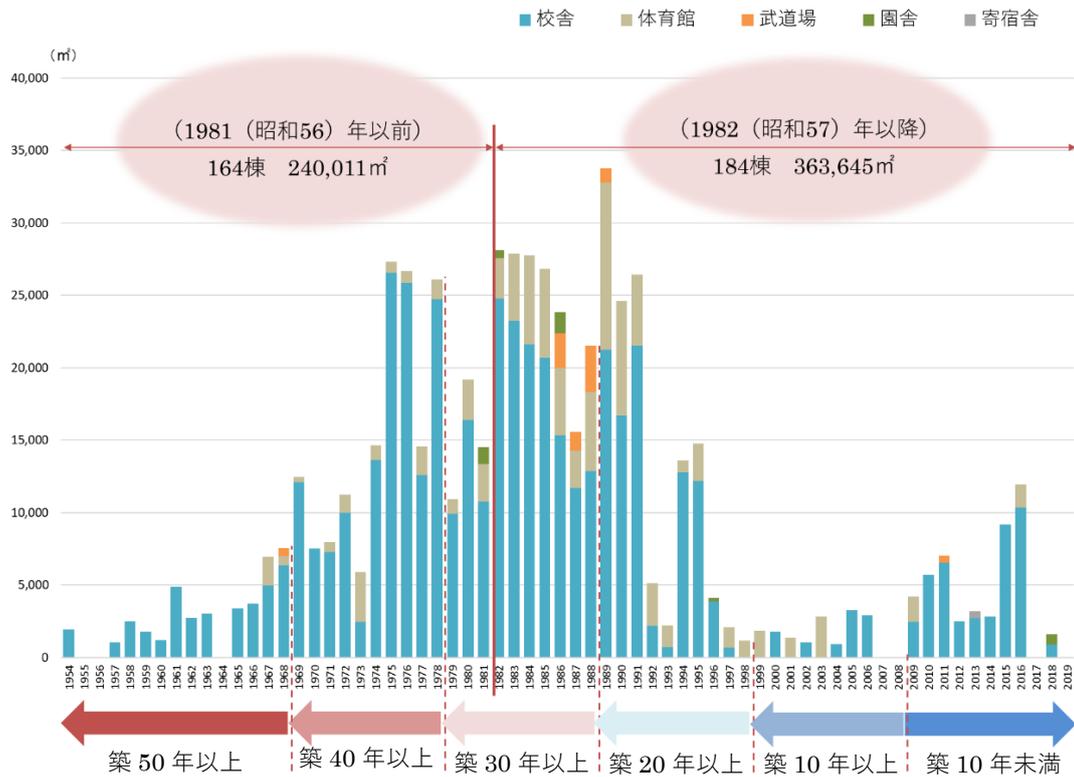


※2015年度は校舎建替え等があり突出しています。

(7) 施設の保有状況（長寿命化対象施設）

1) 小中学校・幼稚園の築年別整備状況

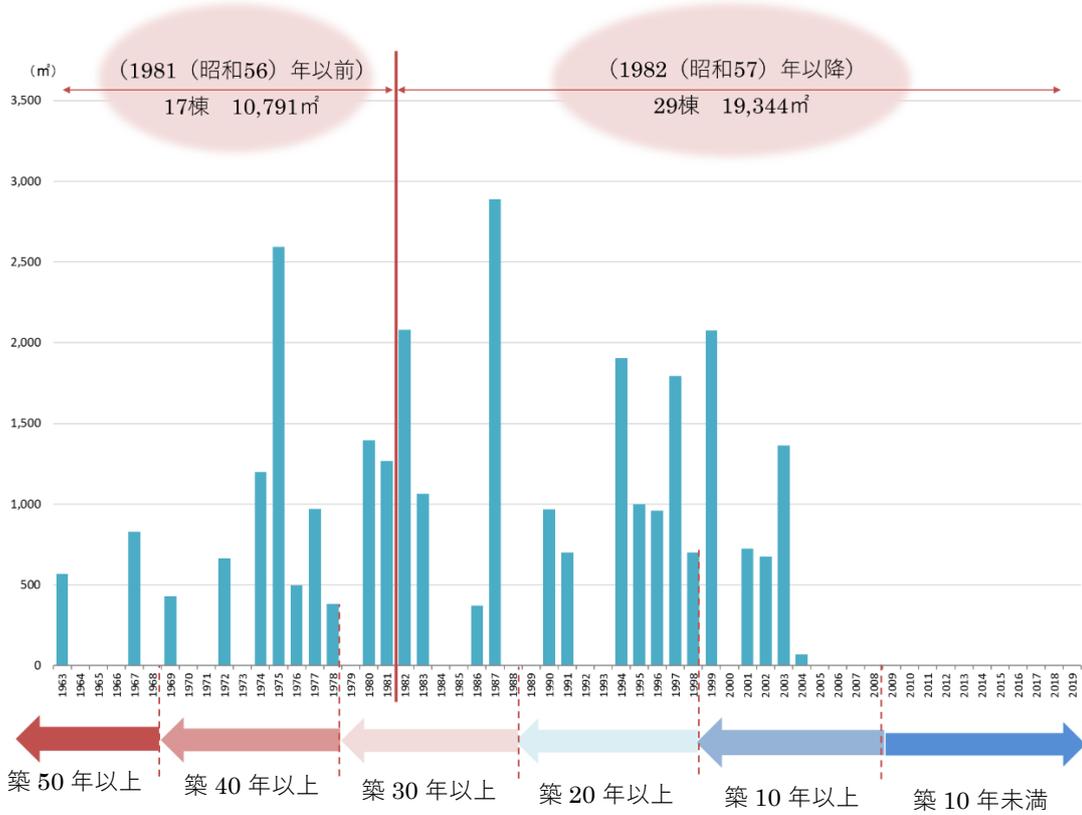
対象となる学校は87校348棟あり、各学校において改築や改修を一体的に実施することが想定される棟を1つの建物として整理した数となっています。



		築50年以上	築49～40年	築39～30年	築29～20年	築19～10年	築10年未満	合計
面積 (㎡)	小学校	24,783	106,984	112,966	92,523	7,441	22,461	367,158
	中学校	15,382	47,533	100,048	35,178	8,488	25,020	231,649
	幼稚園	—	—	3,183	241	—	731	4,155
	計	40,165	154,517	216,197	127,942	15,929	48,212	602,962
棟数(棟)		35	101	126	49	9	28	348
構成比(%)		10.1%	29.0%	36.2%	14.1%	2.6%	8.0%	100.0%

2) 公民館施設の築年別整備状況

対象となる公民館は40館46棟あり、築30年を経過した棟が6割を超えています。



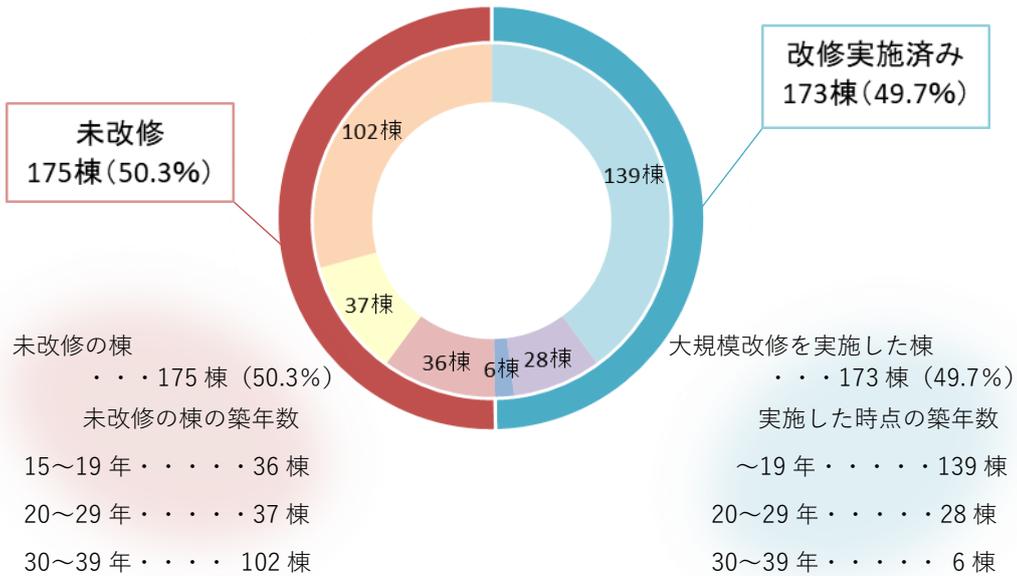
	築50年以上	築49～40年	築39～30年	築29～20年	築19～10年	築10年未満	合計
面積(m <sup>2</sup> )	1,396	6,734	9,068	8,027	4,910	0	30,135
棟数(棟)	2	11	15	9	9	0	46
構成比(%)	4.3%	23.9%	32.6%	19.6%	19.6%	—	100.0%

(8) 施設の状況（長寿命化対象施設）

1) 小中学校・幼稚園の改修履歴状況

長寿命化対象学校は 348 棟あり、うち改修実施済みが 173 棟、未改修が 175 棟あります。

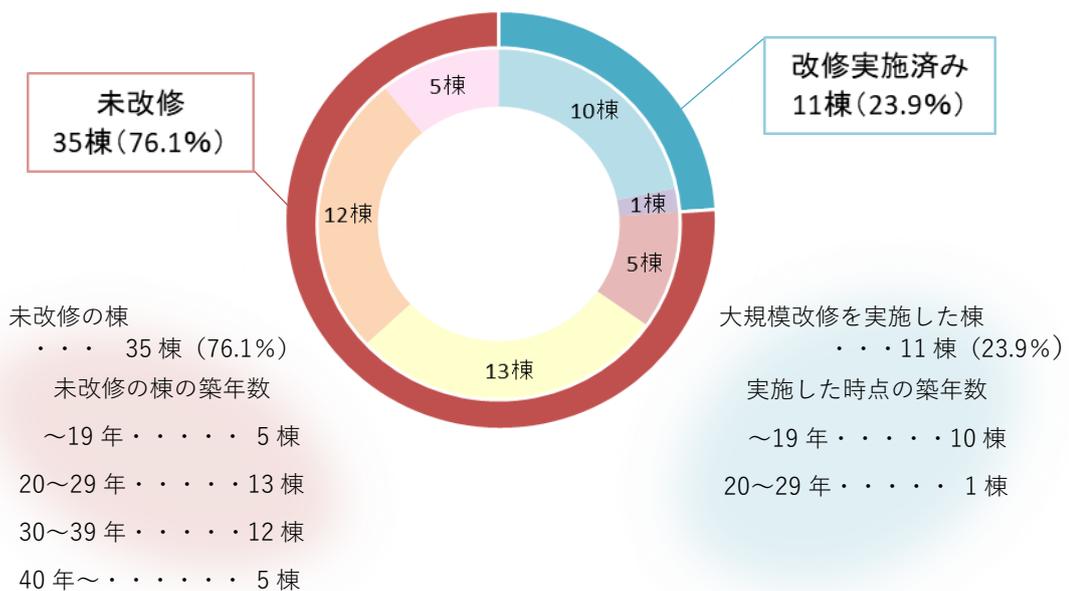
長寿命化対象施設・・・348 棟



2) 公民館の改修履歴状況

長寿命化対象館は 46 棟あり、うち改修実施済みが 11 棟、未改修が 35 棟あります。

長寿命化対象施設・・・46 棟



2. 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体の健全性の評価及び躯体以外の劣化状況等の評価

構造躯体の健全性の評価は、過去に実施した耐震診断調査時のコンクリート圧縮強度の状況を整理しました。

構造躯体以外の劣化状況等の調査として、目視調査及び改修年からの経過年数を基本にA,B,C,Dの4段階で評価及び100点満点で数値化し、健全度を評価しました。

◇評価基準

- ・目視による評価【屋根・屋上、外壁】
- ・経過年数による評価【内部仕上、電気設備、機械設備】

目視による評価		経過年数による評価	
評価	基準	評価	基準
A	概ね良好	A	20年未満
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	B	20～40年
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	C	40年以上
D	早急に対応する必要がある	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合
	（安全上、機能上、問題あり）		
	（躯体の耐久性に影響を与えている）		

◇健全度の算定

健全度は、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。①部位の評価点②部位のコスト配分を定め、③健全度を100点満点で算定します。なお、コスト配分は文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、「長寿命化」の7%分を按分しています。

①部位の評価

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1. 屋根・家屋	5.1
2. 外壁	17.2
3. 内部仕上げ	22.4
4. 電気設備	8
5. 機械設備	7.3
計	60.0

③健全度の算定（棟別）

$$\text{健全度} = \text{総和（部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分）} \div 60$$

※健全度は数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します

健全度の計算例

部位	判定	評価点	コスト配分		
屋根・屋上	C	40	5.1	×	= 204
外壁	D	10	17.2	×	= 172
内部仕上	B	75	22.4	×	= 1,680
電気設備	A	100	8	×	= 800
機械設備	C	40	7.3	×	= 292
計					3,148
					÷ 60
健全度					52（棟別）

1) 小中学校・幼稚園施設の現状

①構造躯体の健全性の評価

躯体の詳細な調査が必要とされるコンクリート圧縮強度が 13.5N/mm<sup>2</sup>以下の施設は、小学校で 31 棟、中学校で 19 棟ありました。

②劣化度調査結果（部位別）

部分的な劣化（B 評価）が最も多く、電気設備・機械設備は評価 C の棟は数棟ありますが、評価 D の棟はありません。

判定	屋根・屋上		外壁		内部仕上		電気設備		機械設備	
	棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合
A	172	49.7%	120	34.7%	97	28.0%	92	26.6%	94	27.2%
B	113	32.7%	151	43.6%	202	58.4%	250	72.3%	247	71.4%
C	42	12.1%	65	18.8%	45	13.0%	4	1.1%	5	1.4%
D	19	5.5%	10	2.9%	2	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
合計	346		346		346		346		346	

※在原幼稚園、垣生小学校 27 棟は建設直後（2018（平成 30）年度）のため、調査を実施していません。



D 判定：防水層に膨れ・破れ等



D 判定：鉄筋の露出



D 判定：錆・腐朽

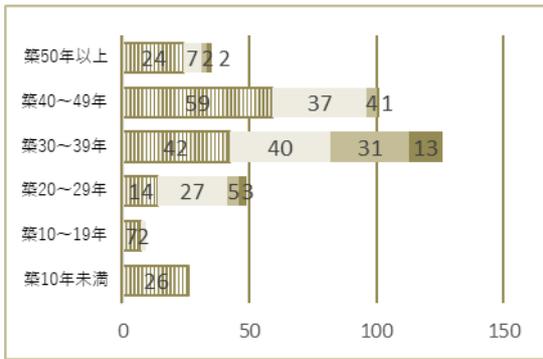


D 判定：亀裂

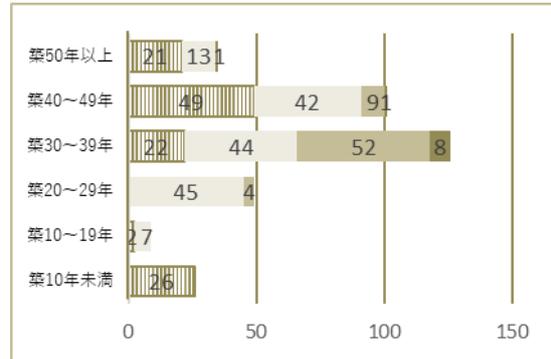
③築年別劣化状況（部位別）

年度別に劣化状況を整理すると、築30年を経過した棟ほどC判定の割合が高くなります。

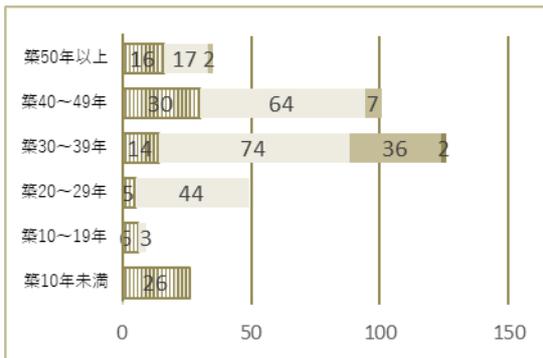
屋根・屋上



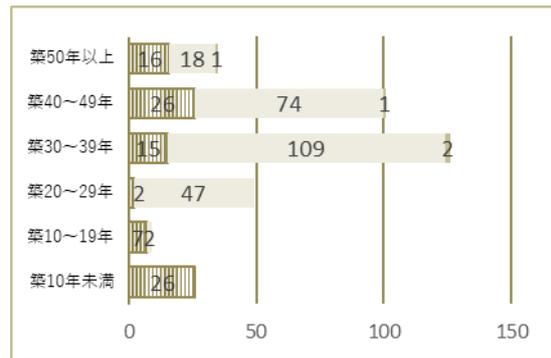
外壁



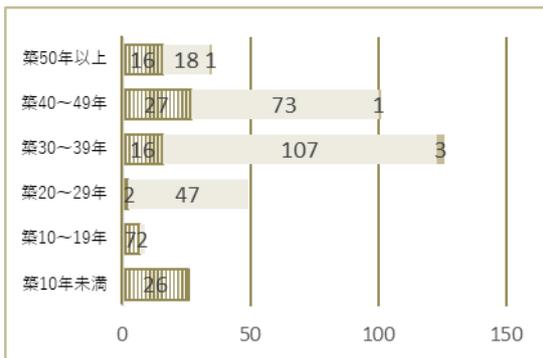
内部仕上



電気設備



機械設備



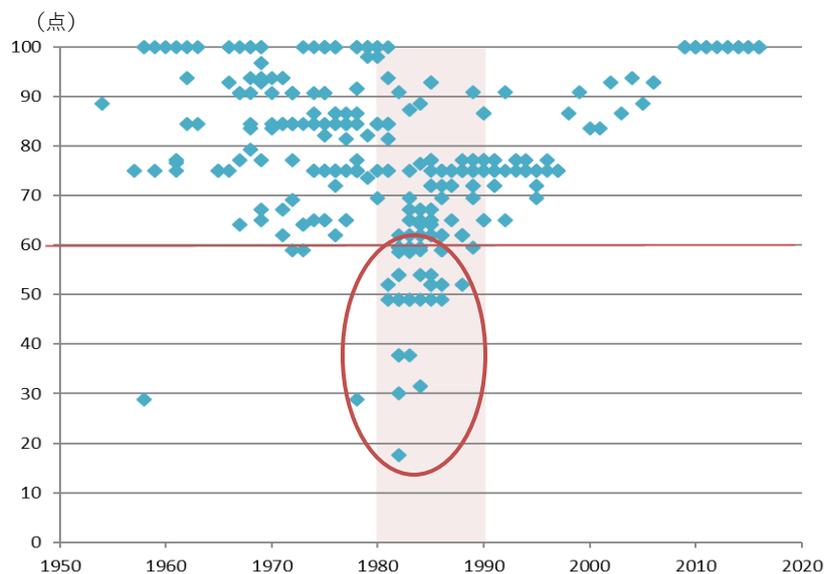
劣化状況	
A	全体的に健全である
B	全体的に健全であるが部分的な劣化が進行している
C	全体的に劣化が進行している
D	全体的に顕著な劣化がみられる

④劣化度調査結果（棟別）

広範囲に劣化し、安全面や機能面で不具合が発生する可能性があるため、予防保全的な老朽化対策を必要とする部位（評価 C）がある棟は、346 棟中 112 棟（32.4%）あります。その内早急に対応する必要がある部位（評価 D）がある棟は、23 棟あります。（対象施設のうち 2 棟は建設直後のため調査対象外としています。）

⑤建設年度別劣化状況評価（棟別）

優先的に改修工事等の対策を講じる必要がある健全度が 60 点未満の棟は 44 棟あり、1980 年代（新築から 30 年以上経過した棟）に集中しています。



2) 公民館施設の現状

①構造躯体の健全性の評価

躯体の詳細な調査が必要とされるコンクリート圧縮強度が 13.5N/mm<sup>2</sup>以下の施設は、公民館で 3 棟ありました。

②劣化度調査結果（部位別）

部分的な劣化（B 評価）が最も多く、評価 D は屋根・屋上のみ該当します。

判定	屋根・屋上		外壁		内部仕上		電気設備		機械設備	
	棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合
A	16	34.8%	10	21.7%	11	23.9%	13	28.3%	13	28.3%
B	20	43.5%	27	58.7%	29	63.0%	25	54.3%	25	54.3%
C	6	13.0%	9	19.6%	6	13.1%	8	17.4%	8	17.4%
D	4	8.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	46		46		46		46		46	



D 判定：雨漏り痕

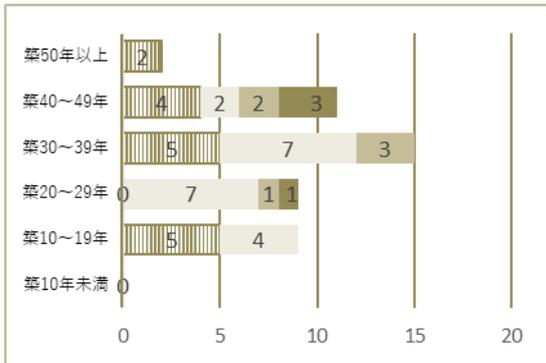


D 判定：雨漏り痕

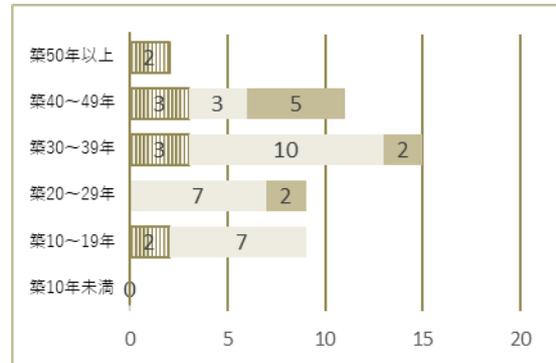
③築年別劣化状況（部位別）

年度別に劣化状況を整理すると、築30年を経過した棟ほどC判定の割合が高くなります。

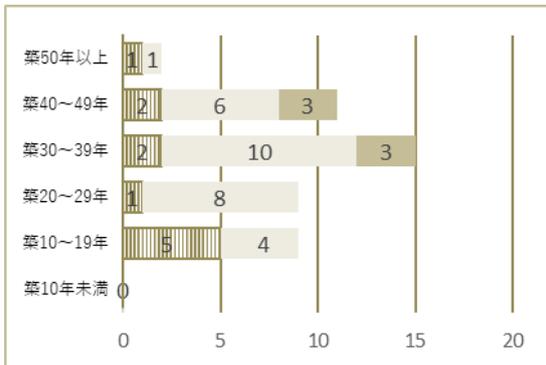
屋根・屋上



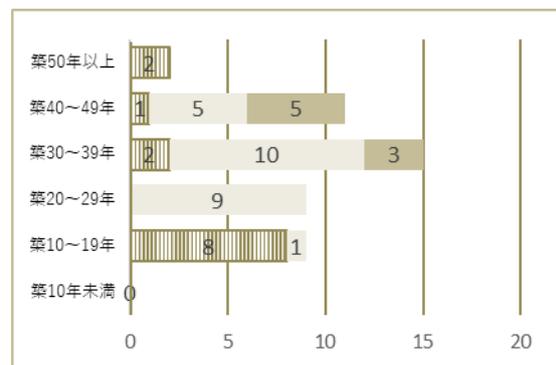
外壁



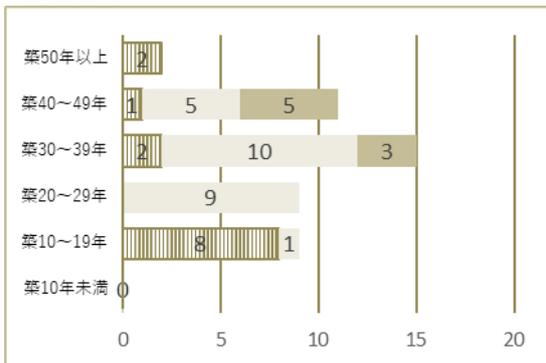
内部仕上



電気設備



機械設備



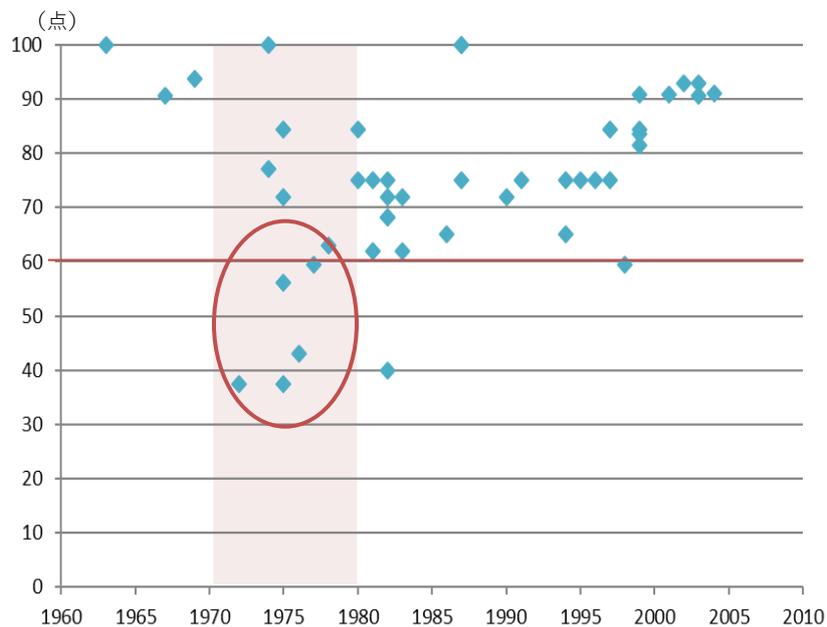
劣化状況	
A	全体的に健全である
B	全体的に健全であるが部分的な劣化が進行している
C	全体的に劣化が進行している
D	全体的に顕著な劣化がみられる

④劣化度調査結果（棟別）

広範囲に劣化し、安全面や機能面で不具合が発生する可能性があるため、予防保全的な老朽化対策を必要とする部位（評価 C）がある棟は、46 棟中 18 棟（39.1%）あります。その内早急に対応する必要がある部位（評価 D）がある棟は、4 棟あります。

⑤建設年度劣化状況評価（棟別）

優先的に改修工事等の対策を講じる必要がある健全度 60 点未満の公民館は 6 棟あります。



### 3. 学校施設のトイレ状況の実態

学校施設の老朽化状況の中でも、学校トイレについては全国的にも課題として取り上げられています。住宅のトイレ環境が向上し、商業施設や駅などの公共トイレの改善が進む中、学校トイレは対策が遅れており、また災害時における避難場所のトイレとしての機能確保なども重要な検討事項となっています。

#### ①洋便器化状況

本市の小中学校のトイレの洋便器率は、以下の表のとおりで、愛媛県内（38.1%）及び全国平均（43.3%）よりも高くなっています。

※平成 28 年 4 月 1 日時点の文部科学省調査結果より

	松山市	愛媛県内	全国平均
洋便器率	49.5%	38.1%	43.3%
和便器率	50.5%	61.9%	56.7%

また、令和 2 年 4 月 1 日時点での洋便器率は、53.0%の予定です。

調査時点	洋便器	和便器	合計	洋式率	和式率
R2.4.1 予定	2,953	2,619	5,572	53.0%	47.0%

#### ②乾式化（ドライ化）状況

学校トイレの改善として、臭いや細菌による衛生面を考慮した乾式トイレへの改善が主流となっており、2019 年度の本市における小中学校のトイレの乾式化の状況は、46.2%(棟数換算)となっています。

※乾式トイレとは、水を用いて洗い流す清掃法が念頭に置かれていないトイレをいい、反対に湿式トイレとは、床をタイル張りで排水溝が設置されており、床の汚れを水で洗い落とす方法で清掃するトイレです。



湿式トイレ



乾式トイレ

## IV. 学校施設等整備の基本的な方針等

## 1. 改修等の基本的な方針

## (1) 計画的保全による長寿命化の推進

今後も継続して使用する施設については、これまでの「事後保全」の維持管理だけでなく、長期的な視点で計画的な修繕を行う「予防保全」の考えを取り入れ、定期的な点検や診断結果に基づく計画的な保全を実施し、長寿命化を推進する。

## (2) 維持管理に向けた課題

## ◇小中学校・幼稚園

- ・建物調査の結果、広範囲に劣化し、安全面や機能面で不具合が発生する可能性のある予防保全的な老朽化対策を必要とする部位（評価C）がある棟は、346棟中112棟（32.4%）存在する。
- ・また、その内、早急に対応する必要がある部位（評価D）がある棟は、23棟
- ・健全度が60点未満の棟は、44棟

## ◇公民館

- ・広範囲に劣化し、安全面や機能面で不具合が発生する可能性があるため、予防保全的な老朽化対策を必要とする部位（評価C）がある棟は、46棟中18棟（39.1%）存在する。
- ・また、その内、早急に対応する必要がある部位（評価D）がある棟は、4棟
- ・健全度が60点未満の棟は、7棟

※小中学校・幼稚園及び公民館の劣化状況より、優先的に改修工事等の対策を講じる必要がある建物や予防保全的な改修により長寿命化を図るため、今後多額の事業費が発生することが予測される。

### (3) 維持管理に向けた方針

---

#### ◇小中学校・幼稚園

- ・限られた財源や人員の中で維持管理・整備が現実的に実施できる計画とする。
- ・健全度の低い建物を優先的に実施する。
- ・健全度の低い建物と同じ学校で改修時期にあたる建物は、同時に実施する。
- ・健全度が同じ点数の建物の優先度は、校舎、屋内運動場、柔剣道場の順とする。
- ・同用途の建物は、前回の改修時期やトイレの乾式化等を考慮して優先度を設定する。
- ・児童生徒数の減少（児童生徒数及び学級数の予測を参考）を考慮し、事業計画時には適正規模での更新を図る。また、概ね 200 m<sup>2</sup>前後の小規模建物は、他校舎の事業時に統合集約化を図る。
- ・学校の教育環境や安全性に考慮した上で、他の公共施設との複合化を検討する。

#### ◇公民館

- ・健全度の低い建物を優先的に実施する。
- ・健全度の点数が同じ建物は、前回の改修時期やトイレの設置状況（乾式化、男女別）等を考慮して優先度を設定する。
- ・事業計画時にはバリアフリー化を検討する。また、小規模な工事については、必要に応じ検討する。
- ・各地域に整備された社会教育の拠点施設であるため、統廃合は実施しない。
- ・最寄りの小学校、支所及びその他公共施設との複合化を検討する。

## 2. 学校施設等の規模・配置計画等の方針

## (1) 施設削減目標値の設定

上位計画の「松山市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 2 月）」及び「松山市公共施設再編成計画（平成 29 年 2 月）」より、学習施設課所管の施設について、以下のよう  
に削減目標を設定する。

## ◇学校施設

	学校数	棟数	面積(m <sup>2</sup> )	削減目標率	削減目標値(m <sup>2</sup> )
小学校	59	464	391,749	25%	97,937
中学校	29	260	242,689	25%	60,672
幼稚園	5	6	4,169	25%	1,042
計	93	730	638,607		159,651

## ◇公民館施設

	館数	棟数	面積(m <sup>2</sup> )	削減目標率	削減目標値(m <sup>2</sup> )
公民館	40	46	29,805	20%	5,961

## (2) 施設削減の基本的な方針

## ◇学校施設

- ・概ね 200 m<sup>2</sup>前後の小規模建物は、他校舎の改修時に統合集約化を図る。
- ・児童生徒数減少に伴う余剰教室数を予測し、事業時に適正規模での更新を図る。
- ・休校及び休校教員住宅は、関係課と協議し、廃校となった際は解体を行う。
- ・プール更新時には、民間施設プールの活用を検討するほか、令和 7 年度以降に実施する水泳事業の実証事業を踏まえた方針に基づく対応を適切に行うこととする。
- ・学校の教育環境や安全性に考慮した上で、他の公共施設との複合化を検討する。

## ◇公民館施設

- ・改築は、施設規模について人口減少などを加味することにより 20%以上の削減を目標に計画立案を実施する。

## (3) 施設削減

## ◇小中学校・幼稚園

## ①施設削減方法

- ・休校及び休校教員住宅：廃校の際、解体する。(11,539 m<sup>2</sup>)
- ・適正規模更新等
  - 学校・幼稚園の整備計画に沿った削減試算
  - 具体策) 児童生徒数減少を見込んだ適正規模更新及び解体校舎の検討
  - 改築校舎と 200 m<sup>2</sup>以下の小規模建物の統合集約
- ・複合化等
  - 児童生徒数減少により空き教室等を利用した複合化の検討

## ②削減試算

削減量の年度別推計

学校施設	2040年	2050年	2060年	2069年
累計削減面積	45,215	78,976	113,537	166,893
削減率	7.0%	12.4%	17.8%	26.1%

※2069年の累計削減面積には休校及び休校教員住宅(11,539 m<sup>2</sup>)が含まれている。

## ◇公民館

## ①施設削減方法

- ・人口減少に伴う適正規模更新
  - 公民館地区内の世帯数等により適正規模更新を行い、公民館全施設の延床面積から20%以上の削減を目標とする。

## ②削減試算

削減量の年度別推計

公民館	2040年	2050年	2060年	2069年
累計削減面積	610	1,687	973	1,448
削減率	2.0%	5.7%	3.3%	4.9%

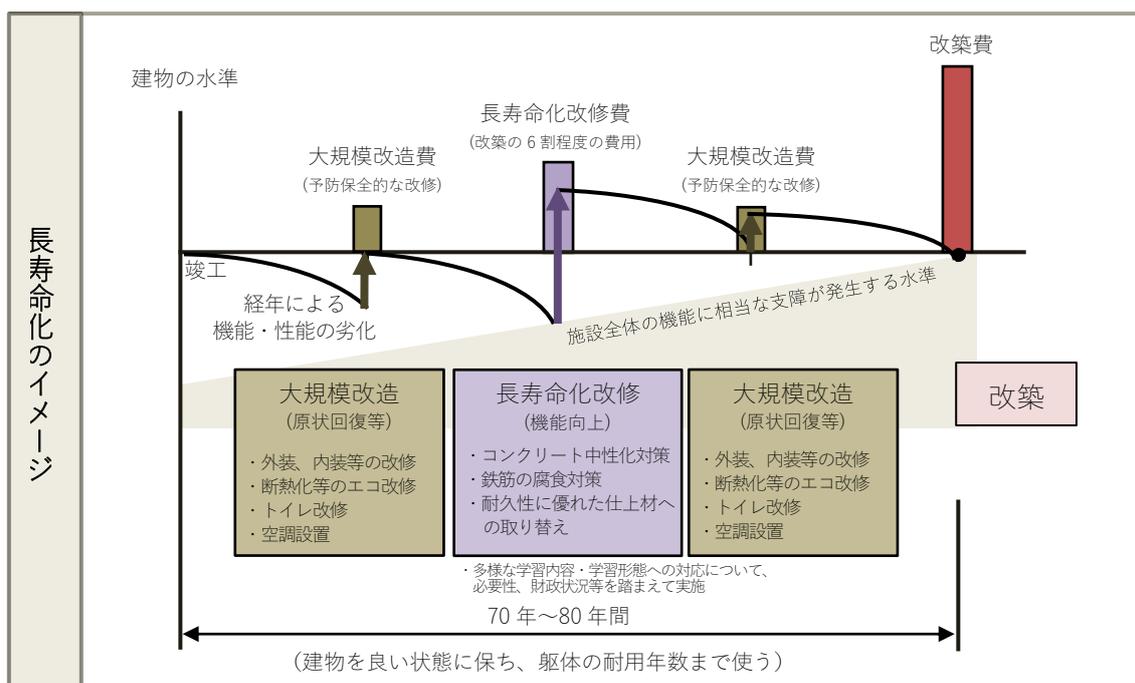
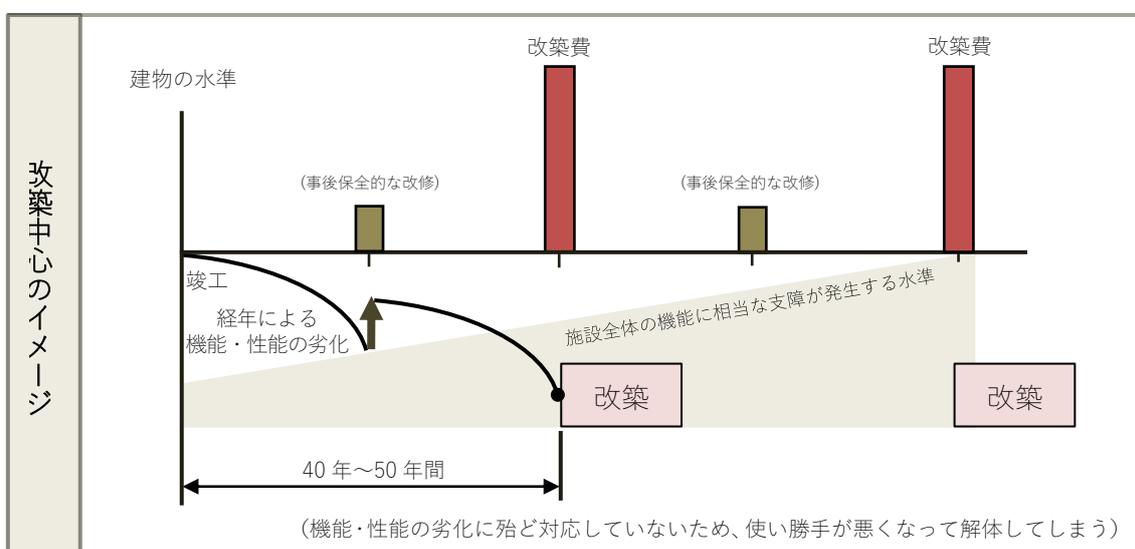
予防保全的な改修工事を実施することによる長寿命化を行い、トータルコストの縮減を図ることで、計画期間(50年)内で公民館すべての改築がないため目標値に至っていない。

V. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

1. 改修等の整備水準

長寿命化計画による改修事業を実施する際、改修内容は、文部科学省が推奨する改修により整備を行うものとし、その建物に必要な改修工事を見極め、学校施設に求められる機能・性能を確保します。

(1) 老朽化対策



## VI. 長寿命化の実施計画

## 1. 改修等の優先順位付けと実施計画

## (1) 改修等の優先順位付け

- ①個別施設毎(200 m<sup>2</sup>を超える学校施設、公民館)に法定点検(12 条点検)を実施し、建物の老朽化状況を把握します。
- ②点検結果による老朽化状況から、建物健全度を評価します。
- ③建物健全度評価から、事業優先順位を取り決めます。
- ④長期計画(50 年間)の整備保全に係るコストを試算し、平準化予算を検討します。
- ⑤人口減少に伴う施設保有量の適正化を図るため、長寿命化計画による施設削減量を試算します。

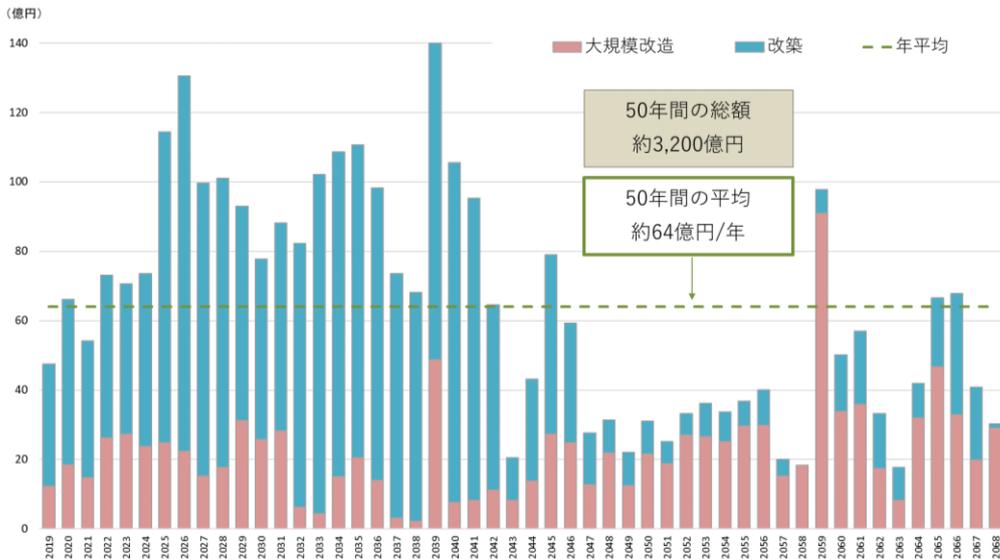
## (2) 実施計画による事業改修時期と目標使用年数の設定

事業種別	状態	建築後使用年数
大規模改造時期		20 年～40 年
長寿命化改修時期		40 年以上
改築時期	コンクリート圧縮強度が 13.5N/mm <sup>2</sup> 以下	60 年程度
	コンクリート圧縮強度が 13.5N/mm <sup>2</sup> より大きい	80 年程度
	コンクリート強度が設計基準強度以上	80 年以上
	鉄骨造	60 年程度

2. 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

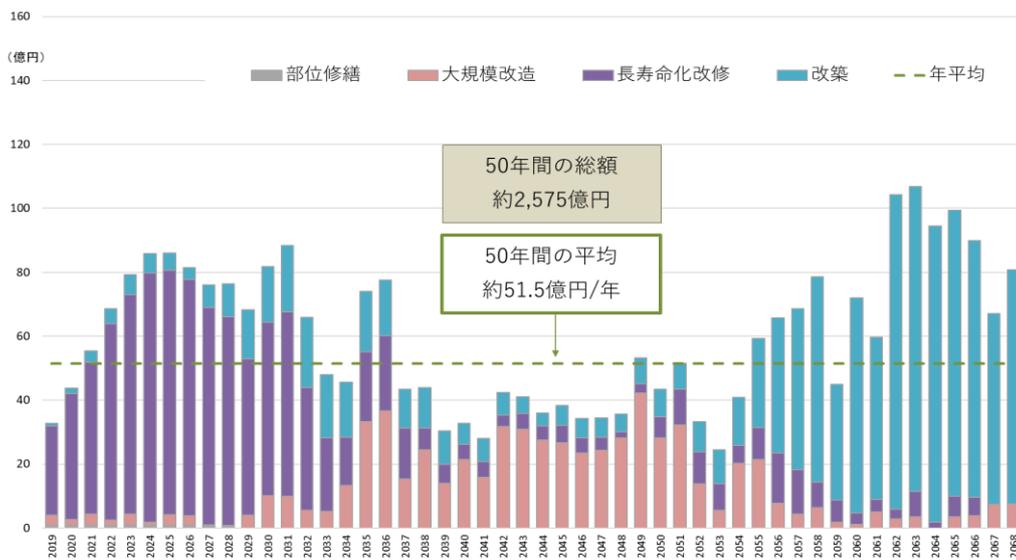
(1) 小中学校・幼稚園 維持・更新コスト (従来型) 【計画策定時】

長寿命化をせず、従来型の事後保全による改修等を実施した場合の50年間にかかる費用を算定した結果、50年間の総額は約3,200億円と年平均は約64億円となった。



(2) 小中学校・幼稚園 維持・更新コスト (長寿命化型) 【計画策定時】

文部科学省が推奨する20年周期による予防保全を実施し、建物の耐用年数を80年程度まで長寿命化させた場合の費用を算出した結果、50年間の総額は約2,575億円で年平均は約51.5億円となり、従来型に対して年間約12.5億円削減となった。



◇小中学校・幼稚園 コスト試算結果

長寿命化対象施設 348 棟を対象に 50 年間に必要なコストの試算結果は以下のよう  
になりました。

	50年間総額 (億円)	年平均 (億円/年)
従来型の手法	3,200	64
長寿命化した場合	2,575	51.5

今後発生する維持管理コストを  
見直す必要があります。

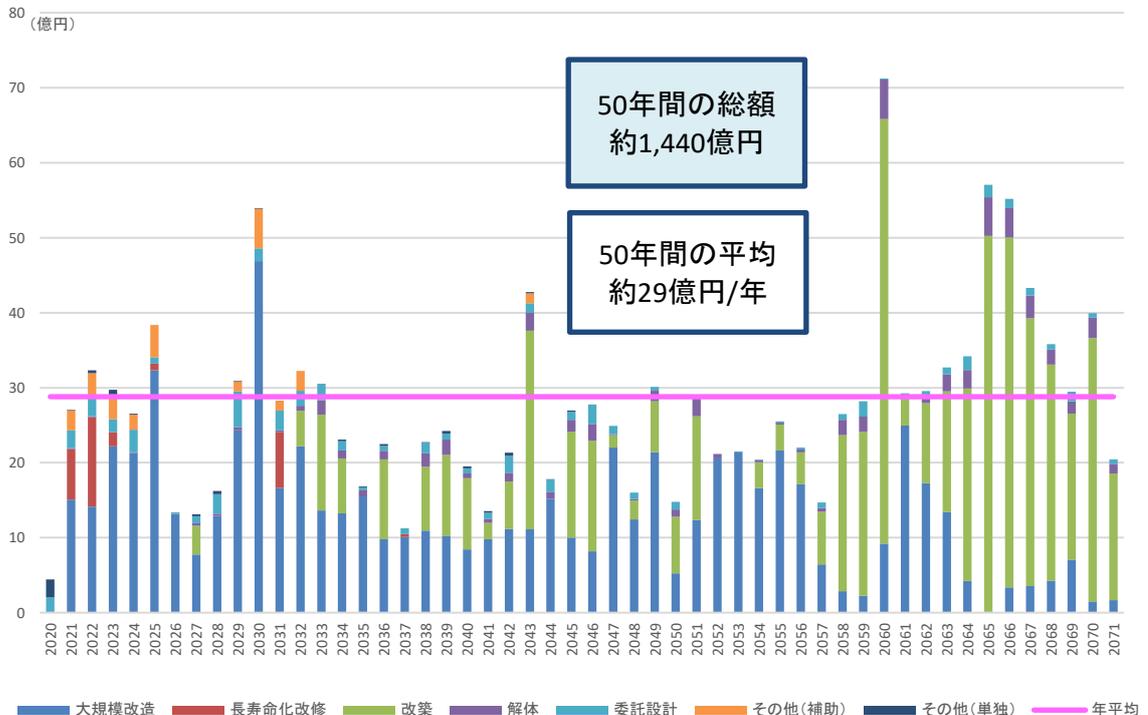
過去に実施した耐震補強工事等の施設整備費は年平均 34.7 億円であったため、財政  
面を考慮すると維持更新コストを見直す必要があります。

(3) 維持管理更新シミュレーション 【計画策定時】

◇小中学校・幼稚園 今後の維持管理に向けた方針

「学校施設の老朽化状況の実態」による建物点検結果及び劣化調査結果より、築年数  
が 30 年を超えると早急に対応が必要な物件が増えることから、予防保全的な改修を 30  
年周期で実施する必要があります。

また、「学校施設等の規模・配置計画等の方針」による施設削減検討を含め、必要な  
コストを試算した結果は以下のようになり、限られた財源や人員のなかで、平準化を図  
りながら維持・管理が実施できる計画とします。

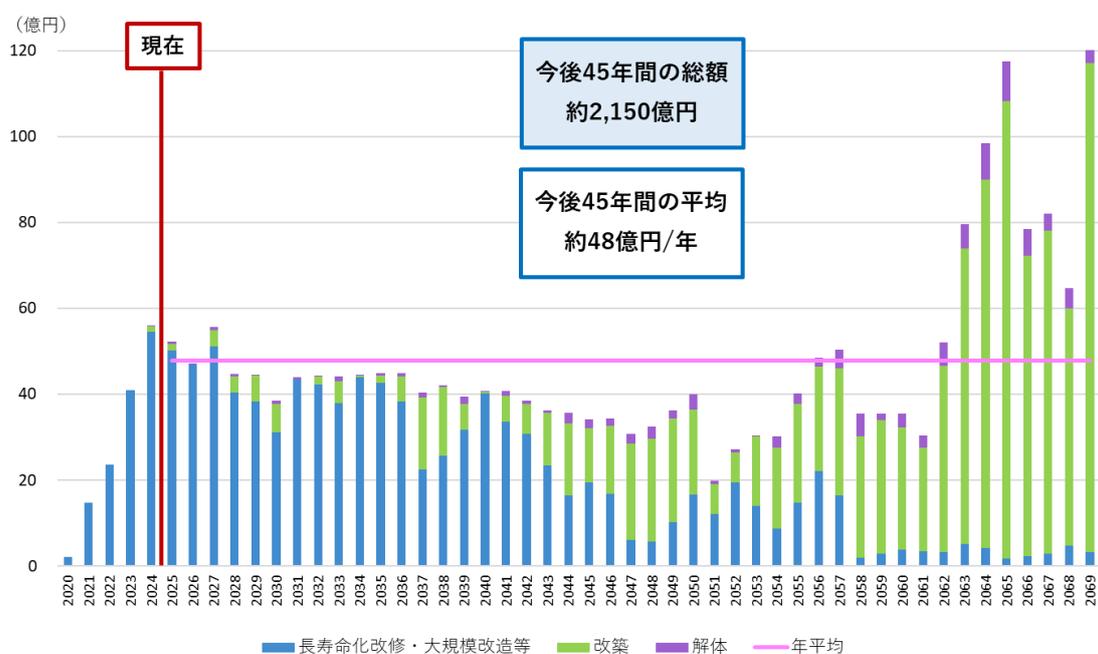


## (4) 令和6年度までの取組みと今後の方針 【令和6年度改訂時】

令和2年4月の本計画策定後から令和6年度までの5年間で、小中学校・幼稚園24校30棟での長寿命化改修や、トイレの洋式化・照明設備のLED化に加えて、令和2年5月のバリアフリー法改正に伴う文部科学省の要請を受け、施設のバリアフリー化にも取り組みました。

本計画策定時の維持・更新コストと比較し、バリアフリー化への対応や社会情勢の変動による材料費や人件費の高騰などに伴い、同コストが増大していることから、令和7年度以降の計画を下表のように見直しました。

今後も長期的な財政計画のもと、事業費の平準化に努めるとともに、将来的な児童・生徒数を考慮した施設規模の適正化や周辺公共施設との複合化を検討するなど、更なるコスト削減に取り組んでいきます。



## 3. 長寿命化計画の実施と質的向上

## (1) トイレ改修計画の検討

長寿命化改修等は、財政的に持続可能な範囲で、実施計画に基づき施設整備を行っていく方針です。その中で、学校施設の中で施設整備の要望の高いトイレについても改修を進め、衛生面の向上やユニバーサルデザインを取り入れることで機能面の強化を図ります。

これまで、大規模改造や耐震補強工事の際にトイレの改修工事を実施してきた結果、洋便器率は令和2年4月予定で53.0%となっています。今後、さらに、洋便器率の向上と乾式化を図るために、長寿命化改修等の事業時による改修と、優先度の低い校舎に關してもトイレ改修を実施し、以下の洋便器率及び乾式率の目標値に向けて改修計画を策定します。

	2019年度	2025年度	2030年度	2035年度
洋便器率	53.0%	67.8%	80.3%	91.4%
乾式率	46.2%	65.8%	87.8%	99.0%

※学校の要望により和便器を各階に1個は残す対応をしている校舎があるため、目標値を90%程度としています。

## 学校トイレの変化

**Q1** 学校で、児童生徒のために施設改善が必要と思われる場所はどこですか？



学校のトイレ研究会研究誌 2019年22号より

(2) LED 改修計画の検討

---

これまでも校舎の耐震化等の事業実施の中で、光源の長寿命化や安全性の向上のため LED 照明器具への取り替えを積極的に行ってきました。

今後も長寿命化計画により、LED を含めた省エネ性の高い高効率型照明器具を用いて施設整備を行い、政府が掲げる 2030 年度までにストック（既設）で 100%設置目標に準じて、計画的に照明器具の改修を進めていきます。

## (3) 小中学校のバリアフリー化整備計画

## ①バリアフリー化の整備方針

原則として全ての学校施設において、車椅子利用者用トイレ、スロープ等による段差解消、エレベーターの整備等のバリアフリー化を推進し、障害等の有無にかかわらず、誰もが支障なく学校生活を送ることができる環境の整備を目指します。

## ②バリアフリー化の整備目標

- ・校舎や屋内運動場の全面的な段差解消など、大規模な施設改修となるバリアフリー化は、長寿命化計画に基づく大規模改修にあわせて一体的に実施し、計画的に整備を進めます。
- ・要配慮児童生徒等の在籍状況に応じて必要となるバリアフリー化は、部分的な施設改修を行うなど、児童生徒等の状況に配慮した環境整備を進めます。

【校舎】 車椅子利用者用トイレ	2020年度（実績）		2025年度（目標）	
	全国平均	松山市	国	松山市
	65.2%	92.7%	95%	100%

《将来的な整備目標》避難所に指定されている全ての学校に整備する。

【校舎】 門から建物前までの段差解消	2020年度（実績）		2025年度（目標）	
	全国平均	松山市	国	松山市
	78.5%	96.3%	100%	100%

《将来的な整備目標》全ての学校で門から教室がある建物前までの段差を解消する。

【校舎】 建物出入口から教室までの段差解消	2020年度（実績）		2025年度（目標）	
	全国平均	松山市	国	松山市
	57.3%	47.6%	100%	56%

《将来的な整備目標》全ての学校で建物出入口から教室までの段差を解消する。

※校舎の昇降口等の段差解消は、2025年度までに整備を進める。

※校舎の全面的な段差解消は、大規模改修時に一体的に整備する。

【校舎】 エレベーター (整備率は1階建ての建物を含む)	2020年度（実績）		2025年度（目標）	
	全国平均	松山市	国	松山市
	27.1%	2.4%	40%	17%

《将来的な整備目標》要配慮児童生徒等が在籍する学校、又は避難所に指定されている学校に、各校エレベーター1基を原則に整備する。

※エレベーターは、設置する校舎を検討し、大規模改修時に一体的に整備する。

【屋内運動場】 車椅子使用者用トイレ	2020年度（実績）		2025年度（目標）	
	全国平均	松山市	国	松山市
	36.9%	24.7%	95%	36%

《将来的な整備目標》避難所に指定されている全ての学校に整備する。

※設置スペースの確保が困難な体育館等は、大規模改修時に一体的に整備する。

【屋内運動場】 門から建物前までの段差解消	2020年度（実績）		2025年度（目標）	
	全国平均	松山市	国	松山市
	74.4%	93.8%	100%	100%

《将来的な整備目標》全ての学校で門から建物前までの段差を解消する。

【屋内運動場】 建物入口からアリーナまでの段差解消	2020年度（実績）		2025年度（目標）	
	全国平均	松山市	国	松山市
	57.0%	81.5%	100%	86%

《将来的な整備目標》全ての学校で建物出入口からアリーナまでの段差を解消する。

※アリーナが1階にある体育館等の段差解消は、2025年度までに整備を進める。

※アリーナが2階にある体育館等の段差解消は、大規模改修時に一体的に整備する。

【屋内運動場】 エレベーター (整備率は1階建ての建物を含む)	2020年度（実績）		2025年度（目標）	
	全国平均	松山市	国	松山市
	65.9%	42.0%	75%	43%

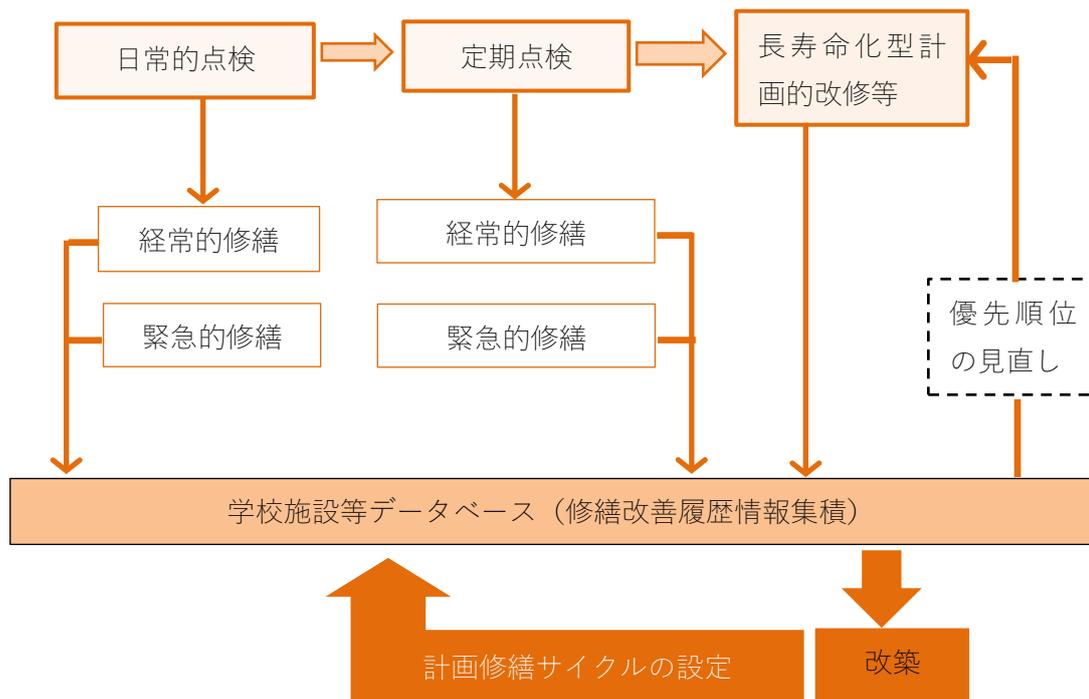
《将来的な整備目標》要配慮児童生徒等が在籍する学校または避難所に指定されている学校の内、アリーナが2階にある学校に、エレベーター1基を原則に整備する。

※エレベーターは、大規模改修時に一体的に整備し、校舎のエレベーター活用も検討する。

VII. 長寿命化計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

今後は、施設の状態や過去の改修・交換履歴、12条点検等の結果を集積するなど、データベースの整備を図り、それらを長寿命化計画に反映させ優先順位を見直すことで、継続的に運用できるメンテナンスサイクルを構築します。



■ 情報基盤構築によるメンテナンスサイクル

2. フォローアップ

施設の老朽化に対応した計画的な整備・更新を行い、長寿命化によるトータルコストの縮減と人口減少社会に合わせた施設保有量の適正化を図ります。

長寿命化計画は5年毎に見直しを行い、建物の老朽化状況に応じて、適切な時期に適切な改修を行うことにより事故防止に努め、平準化を図りながら施設整備を進めます。

